立命館大学大学院 2021年度実施 入学試験

博士課程前期課程

人間科学研究科 人間科学専攻

Т		1							
수줍 - :	7 = <u>.</u> t. <u>-</u> .t.		実施月	専門		外国語(英語)		小論文	
領域	入試方式	式方式コース		ページ	備考	ページ	備考	ページ	備考
	60. 7 24-4FA	公認・一般	9月	P.1~	-	P.40~	-		
	一般入学試験		2月	P.54~	-	P.85~	-		
	11	一般	9月					P.44~	_
	社会人入学試験		2月					P.90~	_
	社会人入学試験(協定)	一般	9月					P.44~	_
心理学領域	144 八八十 14 15 (15)	עויו	2月					P.90~	_
	外国人留学生入学試験	公認∙一般	9月	P.1~	_			P.49~	_
	外国人由于土人于武殿	公認∙一般	2月	P.54~	_			P.92~	_
	学内進学入学試験	公認∙一般	7月	P.8~	-				
	APU特別受入入学試験	一般	9月					P.44~	_
	AFU特別文八八千武線	刊又	2月					P.90~	_
		公認	9月	P.13~	_	P.40~	ı		
	一処入学試験	一般	åД	P.20~	_	P.40~	1		
	一般入学試験	公認	2月	P.61~	_	P.85~	ı		
		一般	2/7	P.67~	_	P.85~	1		
	 ↓ ᄉ ᅵ ᄀ 屵ᆖᆍᄧᄼ	一般	9月	P.20~	_			P.44~	_
	社会人入学試験		2月	P.67~	_			P.90~	_
臨床心理学領域	外国人留学生入学試験	公認	9月	P.13~	-			P.49~	_
		一般	эД	P.20~	_			P.49~	_
		公認	△認 2月	P.61~	_			P.92~	_
		一般	2 <i>H</i>	P.67~	-			P.92~	-
	学内進学入学試験	公認	7月	P.8~	-				
	APU特別受入入学試験	一般	9月					P.44~	_
	APO特別文八八子武殿	一加文	2月					P.90~	_
	一般入学試験	一般	9月	P.29~	_	P.40~	1		
			2月	P.75~	_	P.85~	ı		
実践人間科学領域	社会人入学試験	一般	9月	/				P.44~	_
			2月					P.90~	_
	社会人入学試験(協定)	一般	9月					P.44~	-
			2月					P.90~	-
	外国人留学生入学試験	一般	9月	P.29~	-			P.49~	-
			2月	P.75~	_			P.92~	_
	学内進学入学試験	公認∙一般	7月	P.8~	-				
	APU特別受入入学試験	一般	9月					P.44~	-
			2月					P.90~	_

斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

立命館大学大学院 2021年度実施 入学試験

博士課程後期課程

人間科学研究科

人間科学専攻

入試方式	実施月	筆記試験
一般入学試験	9月	
	2月	
社会人入学試験	9月	
社会人人子 試験	2月	
外国人留学生入学試験	9月	
外国人由子王八子武殿	2月	
学内進学入学試験	9月	
子內進子八子武級	2月	

【表紙の見方】

 $\mathbf{x}\cdots$ 入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

2022 年度

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題

(2021年9月実施)

博士課程前期課程

「心理学領域」専門

公認心理師コース・一般コース

(問題用紙4枚,解答用紙3枚)

<全入試方式共通>

<1時限目 90分>

問 1:心理学共通,問 2:心理学専門(心理学、心理学研究法)

- ※ 問1と問2の両方について解答しなさい。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

- [A] 以下の各問いについて、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 単純接触効果の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 身体接触により対人関係にポジティブあるいはネガティブな変化が生じること。
 - 2. 対人コミュニケーションにおいて言語情報よりも非言語情報が重視されること。
 - 3. 回避欲求よりも接近欲求の方が強く生じること。
 - 4. 対象に繰り返し接するだけで好意度が高まること。
- (2) 両眼視野闘争に関する記述として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 片眼に静止画を提示し、逆の眼に激しく変化する刺激を提示すると、静止画が優位に知覚されやすい。
 - 2. 左右の目に異なる刺激を提示すると、より親近性の高い刺激の方が安定して知覚される。
 - 3. 両眼視野闘争はバーチャルリアリティ技術の進歩により 2000 年代になって発見された現象である。
 - 4. 左右の目に異なる刺激を提示すると、知覚像が交互に切り替わるが、切り替わりのタイミングは通常は予測できない。
- (3) 以下の式で表される理論を何というか。適切なものを選びなさい。

$$\Delta V = \alpha(\lambda - \Sigma V)$$

- 1. コネクショニストモデル
- 2. ハルの S-O-R 理論
- 3. レスコーラ=ワグナーモデル
- 4. 学習の2要因理論
- (4) 両親の離婚や別居の状態において、子どもが忠誠葛藤(Loyalty Conflict)を最も起こしやすい年齢層を選びなさい。
 - 1. 1歳前後~3歳前後
 - 2. 3歳前後~5歳前後
 - 3. 5歳前後~8歳前後
 - 4. 8 歳前後~11歳前後

- (5) 平成 26 年度厚生労働省「高齢者虐待の防止,高齢者の養護者に対する支援等に関する 法律」に基づく対応状況等に関する調査結果によると、養護者による高齢者虐待において、 被虐待高齢者から見た虐待者の続柄で最も多いものを選びなさい。
 - 1. 夫(妻に対する虐待)
 - 2. 妻 (夫に対する虐待)
 - 3. 娘(母親、父親に対する虐待)
 - 4. 息子(母親、父親に対する虐待)
- (6) 家族の発達に関する「多世代伝達過程」理論の提唱者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Bateson, G.
- (7) 以下のうち、ジグソー学習法に関する記述として適切でないものを選びなさい。
 - 1. 各々が他者と知識を共有する。
 - 2. Aronson, E. らが開発した。
 - 3. 各自のユニークなアイディアを熟成させることができる。
 - 4. 協力の意義が体験できる。
- (8) 以下の心理検査のうち、完全には投影法検査に属さないものを選びなさい。
 - 1. P-F スタディ
 - 2. ベンダー・ゲシュタルト・テスト
 - 3. TAT
 - 4. ゾンディ・テスト
- (9) 情動知能(Emotional Intelligence)に関する記述として正しいものを選びなさい。
 - 1. 「悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しい」という考えである。
 - 2. Salovery, P.と Lange, C.によって提唱された。
 - 3. 外向性、開放性と正の相関をもち、情緒不安定性と負の相関をもつ。
 - 4. 生涯を通じて比較的安定し、加齢にともなう変化はない。

- (10) 心理学研究では、基本的に客観的かつ実証的データをもとに人間の一般法則を見つける研究が中心にある。一方、社会における特殊事例や個人を対象とする場合にその特徴や時間的変化を扱う研究もある。後者の総称を、以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 実証主義
 - 2. 個性記述的研究
 - 3. 法則定立的研究
 - 4. 社会構成主義
- (11) 心理学実験において実験実施の恣意性を排除するために、実験者自身も参加者の誰が 統制群で誰が実験群に割り振られたのかわからない状況で実験を行う方法を何というか。 以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 二重盲検法
 - 2. 乱塊法
 - 3. 無作為化
 - 4. スノーボール・サンプリング
- (12) 『心理学原理 The Principles of Psychology』を著したプラグマティズム哲学の代表的人物。後に近代心理学成立起源を巡り、世界初の実験室設立論争の先鋒とされた米国心理学の父と称される人物は誰か。以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. Wundt, W. M.
 - 2. Fechner, G. T.
 - 3. Watson, J.
 - 4. James, W.
- (13) 次の文章は、強迫症にかかわる精神疾患について述べたものである。適切なものを選びなさい。
 - 1. 強迫症の症例として、Freud, S. の「少年ハンス」が挙げられる。
 - 2. 強迫症は子どもには発症しない。
 - 3. 強迫症についての生物学的要因は現在のところ、指摘されていない。
 - 4. 強迫症の治療について、現在では認知行動療法がひとつの治療法である。
- (14) 依存症は、DSM-5 における物質関連障害及び嗜癖性障害群に相当する。依存症について述べた記述のうち、適切なものを選びなさい。
 - 1. アルコール依存症では身体依存はみられるが、精神依存はみられない。
 - 2. 長い年月依存対象を断っていたため、少々の摂取は再発につながることはない。
 - 3. 依存症は、適切な治療がなければ、量や頻度が増加していく進行性のある病である。

- 4. 同じ悩みを抱える自助グループへの参加は治療への動機づけにつながる効果がない。
- (15) WISC-IVの A「指標名」と B「基本下位検査項目」の対応について、<u>適切ではない</u>組み合わせはどれか選びなさい。
 - 1. A-言語理解指標(VCI),B-絵の概念
 - 2. A-知覚推理指標 (PRI), B-積木模様
 - 3. A-ワーキングメモリー指標 (WMI), B-語音整列
 - 4. A-処理速度指標 (PSI), B-符号
- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- バイオフィードバック
- 色残効
- ・少年法による「非行少年」
- ・高齢者虐待の5類型
- ・多元的無知 (多数の無知)
- ピーク・エンドの法則
- ・認知主義
- ・カウンターバランス
- ・問題焦点型コーピング
- · 文章完成法(SCT)

問 2 心理学専門(心理学、心理学研究法)

以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

出典:吉田・村井 (2021) によると、「(1) 重回帰分析は,因子分析とともに,心理学的研究において最も頻繁に使われてきたと言えるであろう多変量解析法であるが,・・・少なくとも我が国においては,現在もなお,ほとんどの研究において不適切ないし誤った適用がなされており,その結果として妥当性の低い証拠に基づく不当な主張が遍在している状況にあると考えられる」(p. 178) という。彼らは、「心理学研究」誌の 88 巻と 89 巻に掲載された 30 編の論文 (ロジスティック回帰分析、ポアソン回帰分析、一般化線形混合モデルによる分析を含む)を取り上げ、重回帰分析の使い方の問題点について,具体的に論じた。

重回帰分析を用いる時の問題点の1つとして、「②ある現象の生起に関わる因果関係を観察研究のデータのみに基づいて完全に明らかにするのは不可能である」ということは「既に合意されていると言える」(p. 180) と彼らは強調した上で、下記の長文が続く。

「そして,その不可能である主な理由は,黒木 (2017, p.64) が「介入をともなわない観 察研究においては処理変数(独立変数)にも反応変数(従属変数)にも影響を与えるような 共変量が数多く存在し,観測できるものもあれば観測できないものもあると考えるのが合 理的である」(括弧内は著者らが加筆)と述べていることが示唆しているように、考慮され ずに (または, 測定ができないために) 組み入れられていない交絡変数の存在の問題であろ う。これは, 重回帰分析の結果示されたある独立変数と従属変数の関係が組み入れなかった 交絡変数が介在した⑶擬似相関である可能性や,ある独立変数が従属変数と(ほとんど)関 係していないという結果が組み入れなかった交絡変数が介在した擬似無相関である可能性 が否定できないことに関わる問題であり, 心理学的研究では, 性格や能力などの個人特性に 関する変数や生活習慣に関する変数などが数多く存在し、それらが互いに関係しあってい るであろうことが例示しているように、交絡変数(の候補)が数多くあり、この問題の顕現 性は非常に高いものと考えられる(前者の擬似相関の問題については広く知られているこ とであり、説明するまでもないと考えられるが、後者の擬似無相関の問題については、吉田 (2018c) の pp. 111-112 などを参照されたい)。また, (4) <u>想定しているものとは逆方向の因</u> 果関係が存在している可能性が否定できないことも観察研究のデータに基づく因果関係の 確立が不可能であることに関わっており、特に、検討の対象になっている変数が心ないし脳 の中でほぼ同時に生起または変化している認知や感情などの心理的構成概念に関する変数 である場合には、このことの顕現性は高いであろう。」(pp. 180-181)

出典:吉田寿夫・村井潤一郎 「心理学的研究における重回帰分析の適用に関わる諸問題」 (『心理学研究』 92巻3号,公益社団法人 日本心理学会,2021年,pp.178-187) (下線部は出題者による)

- (1) 下線部(1)「重回帰分析」とは、どのような時に用いる研究手法であるか、自分の研究 分野あるいはその近接の研究分野の研究の仮想例を示して、説明しなさい。自分の研究分野 あるいはその近接の研究分野においては重回帰分析を用いる例は考えにくいということで あれば、どのような例でもよい(心理学に限らなくてもよい)。(400 字以内)
- (2) 下線部(2)「ある現象の生起に関わる因果関係を観察研究のデータのみに基づいて完全に明らかにするのは不可能である」とはどういうことか、説明しなさい。また、どのようにすれば、「ある現象の生起に関わる因果関係」をより完全に近いかたちで明らかにできるだろうか、説明しなさい。(300 字以内)
- (3) 下線部(3)「疑似相関」とはどういうものか、説明しなさい。(200字以内)
- (4) 下線部(4)「想定しているものとは逆方向の因果関係が存在している可能性が否定できない」とはどういうことか、具体例を挙げて説明しなさい。(200 字以内)
- (5)「音楽と化粧が気分に与える効果」というタイトルの研究があった場合、以下のどの組み合わせが正しいか、番号で答えなさい。
- ①音楽と化粧と気分はすべて独立変数
- ②音楽は独立変数、化粧と気分は従属変数
- ③音楽と化粧は独立変数、気分は従属変数
- ④音楽と化粧は従属変数、気分は独立変数

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題

(2021年7月3日実施)

博士課程前期課程

学内進学入学試験 心理学共通

(問題用紙3枚,解答用紙1枚)

<全入試方式共通>

< 1 時限目 45 分>

問:心理学基礎

※解答用紙には、受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

- [A] 以下の各問いについて,正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 心理学的アセスメントに関して、A グループ(心理学的アセスメントの領域)と B グループ(具体的な心理検査)の組み合わせで正しいものを選択してください。

「A グループ」 「B グループ」

- 1. 発達検査 内田クレペリン
- 2. 性格検査 東大式エゴグラム (TEG)
- 3. 不安測定検査 ― バウムテスト
- 4. 知能検査 **—** DAM (グッドイナフ人物画法)
- (2) アクスラインのプレイセラピーに関する 8 つの基本原則について、<u>誤りのあるものを</u>選択しなさい。
- 1. セラピストと子どもとの間にラポールがあり、信頼関係が構築されている。
- 2. セラピストは子どもの表現した内容を受容している。
- 3. セラピストは子どものもつ自らの問題を解決する能力を十分に尊重し、子どもは遊びの中で何をするかの選択を自ら行うよう求められる。
- 4. セラピストは子どもが何も気にせず内的世界を表現できるよう自由な雰囲気を作ることが大切なため、制限を設ける必要がない。
- (3) 文化と心理療法について述べた次の文の中で、誤りのあるものを選択しなさい。
- 1. 人々の日常生活において、文化が持つ機能は大変重要である。
- 2. 欧米から紹介されてきた心理療法は、日本文化に合うようにローカリゼーションが必要である。
- 3. 森田療法と内観療法は、日本の文化・思想を反映させた独自の心理療法である。
- 4. 日本は島国であり、かつ単一民族であるため、対人援助において文化を考慮しなくても 良い。
- (4)「甘え」理論の提唱者は誰か選択しなさい。
- 1. 河合隼雄
- 2. 土居健郎
- 3. 小此木啓吾
- 4. 北山修

- (5) 次の組み合わせで誤っているものを選びなさい。
- 1. Balint, M. 一次愛
- 2. Winnicott, D. W. 一 移行対象
- 3. Bowlby, J. 一 愛着
- 4. Minuchin, S. 一 自己対象
- (6) 児童虐待防止法のネグレクトに相当しないものを選びなさい。
- 1. 適切な食事を与えない
- 2. 小学生児童を学校に行かせない
- 3. バカ、死ねと激しく罵る
- 4. 乳幼児だけを家に残して外出する
- (7) Ekman, P. が提案した基本 6 感情は、喜び(幸福感)、怒り、悲しみのほか、何か。最も適切なものを選びなさい。
- 1. 孤独・嫌悪・満足
- 2. 満足・恐怖・不安
- 3. 嫌悪・恐怖・驚き
- 4. 不安・驚き・孤独
- (8) バイオロジカルモーション知覚の説明として最も適切なものを選びなさい。
- 1. 外観が生物性を伴わない幾何学図形に対し、動きが物理法則を破る場合に生物性を知覚すること。
- 2. 交互に提示される2つの近接した対象に対し、実際には対象は動いていないにも関わらず明確な運動を知覚すること。
- 3. 人や動物の関節点を示す 10 数個の点の動きを見るだけで、人や動物の動作を知覚すること。
- 4. 自分自身は静止しているにも関わらず、周囲の視覚情報の動きにより自分自身が動いているように知覚すること。
- (9) 馴化に関する記述として最も適切なものを選びなさい。
- 1. ある反応を誘発する刺激を反復して提示すると、その反応が徐々に強まる。これを馴化と呼ぶ。
- 2. 刺激を反復して提示する際に、提示の時間間隔が短いほど素早く馴化する。

- 3. 馴化した刺激に類似した新しい刺激に対しても馴化が転移することある。これを脱馴化と呼ぶ。
- 4. 馴化は人間以外の動物ではよく起こるが人間では稀な現象なので、研究のために主に 動物実験を行う。
- (10) 以下の研究者名と業績の組み合わせとして不適切なものを選びなさい。
- 1. Zajonc, R. B. 顏面血流説
- 2. Maslow, A. H. 成長動機
- 3. Spearman, C. 知能の一因子説
- 4. Allport, G. W. 特性論
- (11) 他人の不幸や失敗を見聞きした時に生じる喜びの感情を何というか選びなさい。
- 1. ホメオパシー
- 2. サイコパス
- 3. シンパシー
- 4. シャーデンフロイデ
- (12) 以下の神経伝達物質、ホルモンのうち、感情体験と直接関係ないものを選びなさい。
- 1. ドーパミン
- 2. セロトニン
- 3. インスリン
- 4. コルチゾール
- (13) 公益社団法人日本心理学会『倫理規定』(2011年発行・第3版)の冒頭7ページ「はじめに」で記載されるように、心理学研究に参加する個人や集団の呼称には「被験者」の語が用いられることがこれまで多かったが、現在は「研究対象者」という表現を使用することが述べられている。以下より、心理学研究に参加する個人・集団を示す表現に関する内容として<u>不適切なもの</u>を選びなさい。
- 1. 同規定発行後の英語論文では研究対象者の表記として subject の使用が推奨されている。
- 2. 被験者の対応語としての英語 subject には主従関係を暗示する部分がある。
- 3. 実験研究に参加する対象者は「実験参加者」、フィールド研究は「研究協力者」という 呼び方が用いられる。
- 4. 被験者という日本語は本来中立的で偏った表現ではない。

(14) 90 名(女性 45 名、男性 45 名)へのアンケート調査で「普段から不安を感じやすい」項目の「はい」「いいえ」の回答について男女差を調べた。Pearson の χ^2 検定を行ったとこる χ^2 (1) =10.0 となり、有意確率 1%水準で有意だったため、2 つの変数間に関連が認められた。続いて調整済み残差を確認したところ以下のような数値となった。結果の解釈として正しいものを選びなさい。

普段から不安を感じやすい

	はい	いいえ
男性	3.374	-3.374
女性	-3.374	3.374

- 1. 男女差はない。
- 2. 男性は女性よりも普段から不安を感じやすい。
- 3. 女性は男性よりも普段から不安を感じやすい。
- 4. 男性も女性も普段から不安を感じやすい。
- (15) 子どもの認知発達に関する研究を行った米国ニューヨーク州出身の心理学者で、主に 道徳性の段階的発達の業績で評価されている人物を以下から選びなさい。
- 1. Piaget, J.
- 2. Kohlberg, L.
- 3. Bruner, J. S.
- 4. Erikson, E. H.
- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- ・ ソーシャルスキル・トレーニング
- HTP
- 反抗期
- ・ 子どものギャング集団
- ・ マガーク効果
- サッケード抑制
- ・ 自己開示と自己呈示
- 栄光浴
- 単一事例実験法
- 一元配置分散分析

2022 年度

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題

(2021年9月実施)

博士課程前期課程

「臨床心理学領域」専門

公認心理師コース

(問題用紙4枚,解答用紙2枚)

<全入試方式共通>

< 1 時限目 90 分>

問1:心理学共通, 問2:臨床心理学専門(心理療法、心理検査)

- ※ 問1と問2の両方について解答しなさい。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験	番号	氏 名

- [A] 以下の各問いについて,正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 単純接触効果の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 身体接触により対人関係にポジティブあるいはネガティブな変化が生じること。
 - 2. 対人コミュニケーションにおいて言語情報よりも非言語情報が重視されること。
 - 3. 回避欲求よりも接近欲求の方が強く生じること。
 - 4. 対象に繰り返し接するだけで好意度が高まること。
- (2) 両眼視野闘争に関する記述として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 片眼に静止画を提示し、逆の眼に激しく変化する刺激を提示すると、静止画が優位に知覚されやすい。
 - 2. 左右の目に異なる刺激を提示すると、より親近性の高い刺激の方が安定して知覚される。
 - 3. 両眼視野闘争はバーチャルリアリティ技術の進歩により 2000 年代になって発見された現象である。
 - 4. 左右の目に異なる刺激を提示すると、知覚像が交互に切り替わるが、切り替わりのタイミングは通常は予測できない。
- (3) 以下の式で表される理論を何というか。適切なものを選びなさい。

$$\Delta V = \alpha(\lambda - \Sigma V)$$

- 1. コネクショニストモデル
- 2. ハルの S-O-R 理論
- 3. レスコーラ=ワグナーモデル
- 4. 学習の2要因理論
- (4) 両親の離婚や別居の状態において、子どもが忠誠葛藤(Loyalty Conflict)を最も起こしやすい年齢層を選びなさい。
 - 1. 1歳前後~3歳前後
 - 2. 3歳前後~5歳前後
 - 3. 5歳前後~8歳前後
 - 4. 8 歳前後~11歳前後

- (5) 平成 26 年度厚生労働省「高齢者虐待の防止,高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づく対応状況等に関する調査結果によると、養護者による高齢者虐待において、被虐待高齢者から見た虐待者の続柄で最も多いものを選びなさい。
 - 1. 夫(妻に対する虐待)
 - 2. 妻 (夫に対する虐待)
 - 3. 娘(母親、父親に対する虐待)
 - 4. 息子(母親、父親に対する虐待)
- (6) 家族の発達に関する「多世代伝達過程」理論の提唱者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Bateson, G.
- (7) 以下のうち、ジグソー学習法に関する記述として適切でないものを選びなさい。
 - 1. 各々が他者と知識を共有する。
 - 2. Aronson, E. らが開発した。
 - 3. 各自のユニークなアイディアを熟成させることができる。
 - 4. 協力の意義が体験できる。
- (8) 以下の心理検査のうち、完全には投影法検査に属さないものを選びなさい。
 - 1. P-F スタディ
 - 2. ベンダー・ゲシュタルト・テスト
 - 3. TAT
 - 4. ゾンディ・テスト
- (9) 情動知能(Emotional Intelligence)に関する記述として正しいものを選びなさい。
 - 1. 「悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しい」という考えである。
 - 2. Salovery, P.と Lange, C.によって提唱された。
 - 3. 外向性、開放性と正の相関をもち、情緒不安定性と負の相関をもつ。
 - 4. 生涯を通じて比較的安定し、加齢にともなう変化はない。

- (10) 心理学研究では、基本的に客観的かつ実証的データをもとに人間の一般法則を見つける研究が中心にある。一方、社会における特殊事例や個人を対象とする場合にその特徴や時間的変化を扱う研究もある。後者の総称を、以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 実証主義
 - 2. 個性記述的研究
 - 3. 法則定立的研究
 - 4. 社会構成主義
- (11) 心理学実験において実験実施の恣意性を排除するために、実験者自身も参加者の誰が 統制群で誰が実験群に割り振られたのかわからない状況で実験を行う方法を何というか。 以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 二重盲検法
 - 2. 乱塊法
 - 3. 無作為化
 - 4. スノーボール・サンプリング
- (12) 『心理学原理 The Principles of Psychology』を著したプラグマティズム哲学の代表的人物。後に近代心理学成立起源を巡り、世界初の実験室設立論争の先鋒とされた米国心理学の父と称される人物は誰か。以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. Wundt, W. M.
 - 2. Fechner, G. T.
 - 3. Watson, J.
 - 4. James, W.
- (13) 次の文章は、強迫症にかかわる精神疾患について述べたものである。適切なものを選びなさい。
 - 1. 強迫症の症例として、Freud, S. の「少年ハンス」が挙げられる。
 - 2. 強迫症は子どもには発症しない。
 - 3. 強迫症についての生物学的要因は現在のところ、指摘されていない。
 - 4. 強迫症の治療について、現在では認知行動療法がひとつの治療法である。
- (14) 依存症は、DSM-5 における物質関連障害及び嗜癖性障害群に相当する。依存症について述べた記述のうち、適切なものを選びなさい。
 - 1. アルコール依存症では身体依存はみられるが、精神依存はみられない。
 - 2. 長い年月依存対象を断っていたため、少々の摂取は再発につながることはない。
 - 3. 依存症は、適切な治療がなければ、量や頻度が増加していく進行性のある病である。

- 4. 同じ悩みを抱える自助グループへの参加は治療への動機づけにつながる効果がない。
- (15) WISC-IVの A「指標名」と B「基本下位検査項目」の対応について、<u>適切ではない</u>組み合わせはどれか選びなさい。
 - 1. A-言語理解指標(VCI),B-絵の概念
 - 2. A-知覚推理指標 (PRI), B-積木模様
 - 3. A-ワーキングメモリー指標 (WMI), B-語音整列
 - 4. A-処理速度指標 (PSI), B-符号
- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- バイオフィードバック
- 色残効
- ・少年法による「非行少年」
- ・高齢者虐待の5類型
- ・多元的無知 (多数の無知)
- ピーク・エンドの法則
- ・認知主義
- ・カウンターバランス
- ・問題焦点型コーピング
- · 文章完成法(SCT)

問 2 臨床心理学専門(心理療法、心理検査)

問1 以下の文章を読み、①から④の()にあてはまる言葉を記述しなさい。

心理アセスメントは、アセスメント面接、観察、心理検査などによって行われる。心理アセスメントとは、最初の面接から治療終了時のアセスメントまで、心理療法の途中でなされるものも含め、来談者の援助を効果的に行うための一連の系統的な情報収集の手続きを指す。アセスメントのために最初に行う面接は、(①) 面接ともいわれ、心理相談や心理療法の第一歩となる。心理検査には、アセスメントの技法により、投影法、質問紙法、作業検査法などに分類される。心理検査は、基本的に、信頼性と妥当性が保証されていることが望ましい。信頼性を求める方法にはいくつかあるが、なかでも、同じ個人に対して一定期間をおいて同じテストを実施し、その相関係数を求める方法を(②) という。妥当性をとらえる観点もいくつかあり、検査項目の内容がどれだけ検査目的の領域をよく反映しているかを表すものを(③) 妥当性という。心理検査は、いくつかを組み合わせて実施することが多いが、このことを、(④) を組むという。

- 問2 心理検査に関する以下の(1)と(2)の問いに答えなさい。
- (1) 以下の文章を読み、①から⑨の() にあてはまる言葉を記述しなさい。

ドイツの精神医学者 Kretchmer, E.は、統合失調症患者にやせ型が多いなど、体格と性格に関係があると確信し、(①) を提唱した。しかし、(①) では性格を数値的に予測できないことから、その後、性格を人びとの間に共通に見られる特徴の集合と考える(②) へと転換がはかられた。 現在、(②) により性格や人格をとらえる質問紙尺度には、(③)、(④)、Big Five などがある。 Big Five は、人格を(⑤)、(⑥)、(⑦)、(⑧)、(⑨) の5つの次元から構成されるものとして作成されている。

- (2) 心理検査における構造化について、実施目的、刺激、反応の自由度、実施場面、被検 者の意識的操作の 5 つの観点から、投影法であるロールシャッハおよび SCT、そして質問 紙法の 3 つについて、比較しつつ説明しなさい。その際、5 つの項目に番号をふりなさい (例:①実施目的は、ロールシャッハでは・・・SCT では・・・質問紙法では・・・。②刺 激について、ロールシャッハでは・・・SCT では・・・質問紙法では・・・。)。(400 字以 内)
- 問3 心理療法に関する以下の(1)と(2)の問いに答えなさい。
- (1) 以下の文章を読み、①から③の() にあてはまる言葉を記述しなさい。

個人精神療法が治療者と患者の相互作用で治療を進めていくのに対して、集団精神療法では、集団の中での参加者同士の相互作用が参加者個々人の洞察や学習を促進し、治療効果が生まれると考えられている。現代の集団精神療法の祖とされるのは、Slavson, S.R.とMoreno, J.L.の2人である。Moreno, J.L.は、(①)の創始者である。他にも、(②)は、集団力学に基づく人間関係の訓練法を開発し、Tグループなどに貢献している。第二次世界大戦中のイギリスにおけるFoulkes, S.H.や Bion, W.R.らの精神力動的アプローチは、生活や活動をともにする入院やデイケアなど施設で、精神疾患、パーソナリティ障害、薬物依存などを対象に、心理的回復や成長を目指す(③)と呼ばれる長期的参加型集団アプローチの発展に貢献した。

(2) 集団精神療法の特徴や効果について述べなさい。(400字以内)

【参考文献】

齋藤 高雅 (編著) (2011). 『改訂新版 臨床心理学特論』 放送大学教育振興会村上 宣寛・村上 千恵子 (編著) (2008). 『改訂 心理アセスメントハンドブック』 北大路書房

2022 年度

Х

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題

(2021年9月実施)

博士課程前期課程

「臨床心理学領域」専門

一般コース

(問題用紙5枚,解答用紙5枚)

<全入試方式共通>

<1時限目 90分>

問 1:心理学共通,問 2:心理学専門(心理学、心理学研究法),問 3:臨床心理学専門(心理療法、心理検査)

- ※ <u>問 1~3 の中から 2 問を選び解答しなさい。ただし問 3 は必ず含むこと。</u> 3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受	験	番	号	氏 名

- [A] 以下の各問いについて,正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 単純接触効果の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 身体接触により対人関係にポジティブあるいはネガティブな変化が生じること。
 - 2. 対人コミュニケーションにおいて言語情報よりも非言語情報が重視されること。
 - 3. 回避欲求よりも接近欲求の方が強く生じること。
 - 4. 対象に繰り返し接するだけで好意度が高まること。
- (2) 両眼視野闘争に関する記述として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 片眼に静止画を提示し、逆の眼に激しく変化する刺激を提示すると、静止画が優位に知覚されやすい。
 - 2. 左右の目に異なる刺激を提示すると、より親近性の高い刺激の方が安定して知覚される。
 - 3. 両眼視野闘争はバーチャルリアリティ技術の進歩により 2000 年代になって発見された現象である。
 - 4. 左右の目に異なる刺激を提示すると、知覚像が交互に切り替わるが、切り替わりのタイミングは通常は予測できない。
- (3) 以下の式で表される理論を何というか。適切なものを選びなさい。

$$\Delta V = \alpha(\lambda - \Sigma V)$$

- 1. コネクショニストモデル
- 2. ハルの S-O-R 理論
- 3. レスコーラ=ワグナーモデル
- 4. 学習の2要因理論
- (4) 両親の離婚や別居の状態において、子どもが忠誠葛藤(Loyalty Conflict)を最も起こしやすい年齢層を選びなさい。
 - 1. 1歳前後~3歳前後
 - 2. 3歳前後~5歳前後
 - 3. 5歳前後~8歳前後
 - 4. 8 歳前後~11歳前後

- (5) 平成 26 年度厚生労働省「高齢者虐待の防止,高齢者の養護者に対する支援等に関する 法律」に基づく対応状況等に関する調査結果によると、養護者による高齢者虐待において、 被虐待高齢者から見た虐待者の続柄で最も多いものを選びなさい。
 - 1. 夫(妻に対する虐待)
 - 2. 妻 (夫に対する虐待)
 - 3. 娘(母親、父親に対する虐待)
 - 4. 息子(母親、父親に対する虐待)
- (6) 家族の発達に関する「多世代伝達過程」理論の提唱者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Bateson, G.
- (7) 以下のうち、ジグソー学習法に関する記述として適切でないものを選びなさい。
 - 1. 各々が他者と知識を共有する。
 - 2. Aronson, E. らが開発した。
 - 3. 各自のユニークなアイディアを熟成させることができる。
 - 4. 協力の意義が体験できる。
- (8) 以下の心理検査のうち、完全には投影法検査に属さないものを選びなさい。
 - 1. P-F スタディ
 - 2. ベンダー・ゲシュタルト・テスト
 - 3. TAT
 - 4. ゾンディ・テスト
- (9) 情動知能(Emotional Intelligence)に関する記述として正しいものを選びなさい。
 - 1. 「悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しい」という考えである。
 - 2. Salovery, P.と Lange, C.によって提唱された。
 - 3. 外向性、開放性と正の相関をもち、情緒不安定性と負の相関をもつ。
 - 4. 生涯を通じて比較的安定し、加齢にともなう変化はない。

- (10) 心理学研究では、基本的に客観的かつ実証的データをもとに人間の一般法則を見つける研究が中心にある。一方、社会における特殊事例や個人を対象とする場合にその特徴や時間的変化を扱う研究もある。後者の総称を、以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 実証主義
 - 2. 個性記述的研究
 - 3. 法則定立的研究
 - 4. 社会構成主義
- (11) 心理学実験において実験実施の恣意性を排除するために、実験者自身も参加者の誰が 統制群で、誰が実験群に割り振られたのかわからない状況で実験を行う方法を何というか。以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 二重盲検法
 - 2. 乱塊法
 - 3. 無作為化
 - 4. スノーボール・サンプリング
- (12) 『心理学原理 The Principles of Psychology』を著したプラグマティズム哲学の代表的人物。後に近代心理学成立起源を巡り、世界初の実験室設立論争の先鋒とされた米国心理学の父と称される人物は誰か。以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. Wundt, W. M.
 - 2. Fechner, G. T.
 - 3. Watson, J.
 - 4. James, W.
- (13) 次の文章は、強迫症にかかわる精神疾患について述べたものである。適切なものを選びなさい。
 - 1. 強迫症の症例として、Freud, S. の「少年ハンス」が挙げられる。
 - 2. 強迫症は子どもには発症しない。
 - 3. 強迫症についての生物学的要因は現在のところ、指摘されていない。
 - 4. 強迫症の治療について、現在では認知行動療法がひとつの治療法である。
- (14) 依存症は、DSM-5 における物質関連障害及び嗜癖性障害群に相当する。依存症について述べた記述のうち、適切なものを選びなさい。
 - 1. アルコール依存症では身体依存はみられるが、精神依存はみられない。
 - 2. 長い年月依存対象を断っていたため、少々の摂取は再発につながることはない。
 - 3. 依存症は、適切な治療がなければ、量や頻度が増加していく進行性のある病である。

- 4. 同じ悩みを抱える自助グループへの参加は治療への動機づけにつながる効果がない。
- (15) WISC-IVの A「指標名」と B「基本下位検査項目」の対応について、<u>適切ではない</u>組み合わせはどれか選びなさい。
 - 1. A-言語理解指標(VCI),B-絵の概念
 - 2. A-知覚推理指標 (PRI), B-積木模様
 - 3. A-ワーキングメモリー指標 (WMI), B-語音整列
 - 4. A-処理速度指標 (PSI), B-符号
- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- バイオフィードバック
- 色残効
- ・少年法による「非行少年」
- ・高齢者虐待の5類型
- ・多元的無知 (多数の無知)
- ピーク・エンドの法則
- ・認知主義
- ・カウンターバランス
- ・問題焦点型コーピング
- · 文章完成法(SCT)

問 2 心理学専門(心理学、心理学研究法)

以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

出典:吉田・村井(2021)によると、「(1)重回帰分析は、因子分析とともに、心理学的研究において最も頻繁に使われてきたと言えるであろう多変量解析法であるが、・・・少なくとも我が国においては、現在もなお、ほとんどの研究において不適切ないし誤った適用がなされており、その結果として妥当性の低い証拠に基づく不当な主張が遍在している状況にあると考えられる」(p.178)という。彼らは、「心理学研究」誌の88巻と89巻に掲載された30編の論文(ロジスティック回帰分析、ポアソン回帰分析、一般化線形混合モデルによる分析を含む)を取り上げ、重回帰分析の使い方の問題点について、具体的に論じた。

重回帰分析を用いる時の問題点の 1 つとして、「₍₂₎ある現象の生起に関わる因果関係を観察研究のデータのみに基づいて完全に明らかにするのは不可能である」ということは「既に合意されていると言える」(p.180) と彼らは強調した上で、下記の長文が続く。

「そして,その不可能である主な理由は,黒木(2017,p.64)が「介入をともなわない観察 研究においては処理変数(独立変数)にも反応変数(従属変数)にも影響を与えるような共 変量が数多く存在し,観測できるものもあれば観測できないものもあると考えるのが合理 的である」(括弧内は著者らが加筆)と述べていることが示唆しているように、考慮されず に(または,測定ができないために)組み入れられていない交絡変数の存在の問題であろう。 これは、重回帰分析の結果示されたある独立変数と従属変数の関係が組み入れなかった交 絡変数が介在したω擬似相関である可能性や,ある独立変数が従属変数と(ほとんど)関係 していないという結果が組み入れなかった交絡変数が介在した擬似無相関である可能性が 否定できないことに関わる問題であり, 心理学的研究では, 性格や能力などの個人特性に関 する変数や生活習慣に関する変数などが数多く存在し、それらが互いに関係しあっている であろうことが例示しているように,交絡変数(の候補)が数多くあり,この問題の顕現性 は非常に高いものと考えられる(前者の擬似相関の問題については広く知られていること であり、説明するまでもないと考えられるが、後者の擬似無相関の問題については、吉田 (2018c) の pp.111-112 などを参照されたい)。また, (4) 想定しているものとは逆方向の因果 <u>関係が存在している可能性が否定できない</u>ことも観察研究のデータに基づく因果関係の確 立が不可能であることに関わっており、特に、検討の対象になっている変数が心ないし脳の 中でほぼ同時に生起または変化している認知や感情などの心理的構成概念に関する変数で ある場合には、このことの顕現性は高いであろう。」(pp.180-181)

出典:吉田寿夫・村井潤一郎「心理学的研究における重回帰分析の適用に関わる諸問題」(『心理学研究』92巻3号,公益社団法人 日本心理学会,2021年,pp.178-187) (下線部は出題者による)

- (1) 下線部(1)「重回帰分析」とは、どのような時に用いる研究手法であるか、自分の研究 分野あるいはその近接の研究分野の研究の仮想例を示して、説明しなさい。自分の研究分野 あるいはその近接の研究分野においては重回帰分析を用いる例は考えにくいということで あれば、どのような例でもよい(心理学に限らなくてもよい)。(400 字以内)
- (2) 下線部(2)「ある現象の生起に関わる因果関係を観察研究のデータのみに基づいて完全に明らかにするのは不可能である」とはどういうことか、説明しなさい。また、どのようにすれば、「ある現象の生起に関わる因果関係」をより完全に近いかたちで明らかにできるだろうか、説明しなさい。(300 字以内)
- (3) 下線部(3)「疑似相関」とはどういうものか、説明しなさい。(200字以内)
- (4)下線部(4)「想定しているものとは逆方向の因果関係が存在している可能性が否定できない」とはどういうことか、具体例を挙げて説明しなさい。(200字以内)
- (5)「音楽と化粧が気分に与える効果」というタイトルの研究があった場合、以下のどの組み合わせが正しいか、番号で答えなさい。
- ①音楽と化粧と気分はすべて独立変数
- ②音楽は独立変数、化粧と気分は従属変数
- ③音楽と化粧は独立変数、気分は従属変数
- ④音楽と化粧は従属変数、気分は独立変数

問3 臨床心理学専門(心理療法、心理検査)

1 以下の文章を読み、①から④の()にあてはまる言葉を記述しなさい。

心理アセスメントは、アセスメント面接、観察、心理検査などによって行われる。心理アセスメントとは、最初の面接から治療終了時のアセスメントまで、心理療法の途中でなされるものも含め、来談者の援助を効果的に行うための一連の系統的な情報収集の手続きを指す。アセスメントのために最初に行う面接は、(①)面接ともいわれ、心理相談や心理療法の第一歩となる。心理検査には、アセスメントの技法により、投影法、質問紙法、作業検査法などに分類される。心理検査は、基本的に、信頼性と妥当性が保証されていることが望ましい。信頼性を求める方法にはいくつかあるが、なかでも、同じ個人に対して一定期間をおいて同じテストを実施し、その相関係数を求める方法を(②)という。妥当性をとらえる観点もいくつかあり、検査項目の内容がどれだけ検査目的の領域をよく反映しているかを表すものを(③)妥当性という。心理検査は、いくつかを組み合わせて実施することが多いが、このことを、(④)を組むという。

- 2 心理検査に関する以下の(1)と(2)の問いに答えなさい。
- (1) 以下の文章を読み、①から⑨の() にあてはまる言葉を記述しなさい。

ドイツの精神医学者 Kretchmer, E.は、統合失調症患者にやせ型が多いなど、体格と性格に関係があると確信し、(①)を提唱した。しかし、(①)では性格を数値的に予測できないことから、その後、性格を人びとの間に共通に見られる特徴の集合と考える(②)へと転換がはかられた。現在、(②)により性格や人格をとらえる質問紙尺度には、 (③)、(④)、Big Five などがある。Big Five は、人格を(⑤)、(⑥)、(⑦)、(⑧)、(⑨) の5つの次元から構成されるものとして作成されている。

- (2) 心理検査における構造化について、実施目的、刺激、反応の自由度、実施場面、被検 者の意識的操作の 5 つの観点から、投影法であるロールシャッハおよび SCT、そして質問 紙法の 3 つについて、比較しつつ説明しなさい。その際、5 つの項目に番号をふりなさい (例:①実施目的は、ロールシャッハでは・・・SCT では・・・質問紙法では・・・。②刺 激について、ロールシャッハでは・・・SCT では・・・質問紙法では・・・。)。(400 字以 内)
- 3 心理療法に関する以下の(1)と(2)の問いに答えなさい。
- (1) 以下の文章を読み、①から③の() にあてはまる言葉を記述しなさい。

個人精神療法が治療者と患者の相互作用で治療を進めていくのに対して、集団精神療法では、集団の中での参加者同士の相互作用が参加者個々人の洞察や学習を促進し、治療効果が生まれると考えられている。現代の集団精神療法の祖とされるのは、Slavson, S.R.とMoreno, J.L.の2人である。Moreno, J.L.は、(①)の創始者である。他にも、(②)は、集団力学に基づく人間関係の訓練法を開発し、Tグループなどに貢献している。第二次世界大戦中のイギリスにおける Foulkes, S.H.や Bion, W.R.らの精神力動的アプローチは、生活や活動をともにする入院やデイケアなど施設で、精神疾患、パーソナリティ障害、薬物依存などを対象に、心理的回復や成長を目指す(③)と呼ばれる長期的参加型集団アプローチの発展に貢献した。

(2) 集団精神療法の特徴や効果について述べなさい。(400字以内)

【参考文献】

齋藤 高雅 (編著) (2011). 『改訂新版 臨床心理学特論』 放送大学教育振興会村上 宣寛・村上 千恵子 (編著) (2008). 『改訂 心理アセスメントハンドブック』 北大路書房

2022 年度

X

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題

(2021年9月実施)

博士課程前期課程

「実践人間科学領域」専門

一般コース

(問題用紙6枚,解答用紙6枚)

<全入試方式共通>

<1時限目 90分>

問1:心理学共通, 問2:心理学専門(心理学、心理学研究法), 問3:臨床心理学(心理療法、心理検査), 問4:実践人間科学(心理学をコアとする人間科学)

- ※ 問 1~4 の中から 2 問を選び解答しなさい。ただし問 4 は必ず含むこと。 3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

- [A] 以下の各問いについて,正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 単純接触効果の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 身体接触により対人関係にポジティブあるいはネガティブな変化が生じること。
 - 2. 対人コミュニケーションにおいて言語情報よりも非言語情報が重視されること。
 - 3. 回避欲求よりも接近欲求の方が強く生じること。
 - 4. 対象に繰り返し接するだけで好意度が高まること。
- (2) 両眼視野闘争に関する記述として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 片眼に静止画を提示し、逆の眼に激しく変化する刺激を提示すると、静止画が優位に知覚されやすい。
 - 2. 左右の目に異なる刺激を提示すると、より親近性の高い刺激の方が安定して知覚される。
 - 3. 両眼視野闘争はバーチャルリアリティ技術の進歩により 2000 年代になって発見された現象である。
 - 4. 左右の目に異なる刺激を提示すると、知覚像が交互に切り替わるが、切り替わりのタイミングは通常は予測できない。
- (3) 以下の式で表される理論を何というか。適切なものを選びなさい。

$$\Delta V = \alpha(\lambda - \Sigma V)$$

- 1. コネクショニストモデル
- 2. ハルの S-O-R 理論
- 3. レスコーラ=ワグナーモデル
- 4. 学習の2要因理論
- (4) 両親の離婚や別居の状態において、子どもが忠誠葛藤(Loyalty Conflict)を最も起こしやすい年齢層を選びなさい。
 - 1. 1歳前後~3歳前後
 - 2. 3歳前後~5歳前後
 - 3. 5歳前後~8歳前後
 - 4. 8 歳前後~11歳前後

- (5) 平成 26 年度厚生労働省「高齢者虐待の防止,高齢者の養護者に対する支援等に関する 法律」に基づく対応状況等に関する調査結果によると、養護者による高齢者虐待において、 被虐待高齢者から見た虐待者の続柄で最も多いものを選びなさい。
 - 1. 夫(妻に対する虐待)
 - 2. 妻 (夫に対する虐待)
 - 3. 娘(母親、父親に対する虐待)
 - 4. 息子(母親、父親に対する虐待)
- (6) 家族の発達に関する「多世代伝達過程」理論の提唱者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Bateson, G.
- (7) 以下のうち、ジグソー学習法に関する記述として適切でないものを選びなさい。
 - 1. 各々が他者と知識を共有する。
 - 2. Aronson, E. らが開発した。
 - 3. 各自のユニークなアイディアを熟成させることができる。
 - 4. 協力の意義が体験できる。
- (8) 以下の心理検査のうち、完全には投影法検査に属さないものを選びなさい。
 - 1. P-F スタディ
 - 2. ベンダー・ゲシュタルト・テスト
 - 3. TAT
 - 4. ゾンディ・テスト
- (9) 情動知能(Emotional Intelligence)に関する記述として正しいものを選びなさい。
 - 1. 「悲しいから泣くのではなく、泣くから悲しい」という考えである。
 - 2. Salovery, P.と Lange, C.によって提唱された。
 - 3. 外向性、開放性と正の相関をもち、情緒不安定性と負の相関をもつ。
 - 4. 生涯を通じて比較的安定し、加齢にともなう変化はない。

- (10) 心理学研究では、基本的に客観的かつ実証的データをもとに人間の一般法則を見つける研究が中心にある。一方、社会における特殊事例や個人を対象とする場合にその特徴や時間的変化を扱う研究もある。後者の総称を、以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 実証主義
 - 2. 個性記述的研究
 - 3. 法則定立的研究
 - 4. 社会構成主義
- (11) 心理学実験において実験実施の恣意性を排除するために、実験者自身も参加者の誰が 統制群で、誰が実験群に割り振られたのかわからない状況で実験を行う方法を何というか。 以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. 二重盲検法
 - 2. 乱塊法
 - 3. 無作為化
 - 4. スノーボール・サンプリング
- (12) 『心理学原理 The Principles of Psychology』を著したプラグマティズム哲学の代表的人物。後に近代心理学成立起源を巡り、世界初の実験室設立論争の先鋒とされた米国心理学の父と称される人物は誰か。以下の選択肢から選びなさい。
 - 1. Wundt, W. M.
 - 2. Fechner, G. T.
 - 3. Watson, J.
 - 4. James, W.
- (13) 次の文章は、強迫症にかかわる精神疾患について述べたものである。適切なものを選びなさい。
 - 1. 強迫症の症例として、Freud, S. の「少年ハンス」が挙げられる。
 - 2. 強迫症は子どもには発症しない。
 - 3. 強迫症についての生物学的要因は現在のところ、指摘されていない。
 - 4. 強迫症の治療について、現在では認知行動療法がひとつの治療法である。
- (14) 依存症は、DSM-5 における物質関連障害及び嗜癖性障害群に相当する。依存症について述べた記述のうち、適切なものを選びなさい。
 - 1. アルコール依存症では身体依存はみられるが、精神依存はみられない。
 - 2. 長い年月依存対象を断っていたため、少々の摂取は再発につながることはない。
 - 3. 依存症は、適切な治療がなければ、量や頻度が増加していく進行性のある病である。

- 4. 同じ悩みを抱える自助グループへの参加は治療への動機づけにつながる効果がない。
- (15) WISC-IVの A「指標名」と B「基本下位検査項目」の対応について、<u>適切ではない</u>組み合わせはどれか選びなさい。
 - 1. A-言語理解指標(VCI),B-絵の概念
 - 2. A-知覚推理指標 (PRI), B-積木模様
 - 3. A-ワーキングメモリー指標 (WMI), B-語音整列
 - 4. A-処理速度指標 (PSI), B-符号
- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- バイオフィードバック
- 色残効
- ・少年法による「非行少年」
- ・高齢者虐待の5類型
- ・多元的無知 (多数の無知)
- ピーク・エンドの法則
- ・認知主義
- ・カウンターバランス
- ・問題焦点型コーピング
- · 文章完成法(SCT)

間2 心理学専門(心理学、心理学研究法)

以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

出典:吉田・村井(2021)によると、「(1)重回帰分析は、因子分析とともに、心理学的研究において最も頻繁に使われてきたと言えるであろう多変量解析法であるが、・・・少なくとも我が国においては、現在もなお、ほとんどの研究において不適切ないし誤った適用がなされており、その結果として妥当性の低い証拠に基づく不当な主張が遍在している状況にあると考えられる」(p.178)という。彼らは、「心理学研究」誌の88巻と89巻に掲載された30編の論文(ロジスティック回帰分析、ポアソン回帰分析、一般化線形混合モデルによる分析を含む)を取り上げ、重回帰分析の使い方の問題点について、具体的に論じた。

重回帰分析を用いる時の問題点の 1 つとして、「₍₂₎ある現象の生起に関わる因果関係を観察研究のデータのみに基づいて完全に明らかにするのは不可能である」ということは「既に合意されていると言える」(p.180) と彼らは強調した上で、下記の長文が続く。

「そして,その不可能である主な理由は,黒木(2017,p.64)が「介入をともなわない観察 研究においては処理変数(独立変数)にも反応変数(従属変数)にも影響を与えるような共 変量が数多く存在し,観測できるものもあれば観測できないものもあると考えるのが合理 的である」(括弧内は著者らが加筆)と述べていることが示唆しているように、考慮されず に(または,測定ができないために)組み入れられていない交絡変数の存在の問題であろう。 これは、重回帰分析の結果示されたある独立変数と従属変数の関係が組み入れなかった交 絡変数が介在したω擬似相関である可能性や,ある独立変数が従属変数と(ほとんど)関係 していないという結果が組み入れなかった交絡変数が介在した擬似無相関である可能性が 否定できないことに関わる問題であり, 心理学的研究では, 性格や能力などの個人特性に関 する変数や生活習慣に関する変数などが数多く存在し、それらが互いに関係しあっている であろうことが例示しているように,交絡変数(の候補)が数多くあり,この問題の顕現性 は非常に高いものと考えられる(前者の擬似相関の問題については広く知られていること であり、説明するまでもないと考えられるが、後者の擬似無相関の問題については、吉田 (2018c) の pp.111-112 などを参照されたい)。また, (4) 想定しているものとは逆方向の因果 <u>関係が存在している可能性が否定できない</u>ことも観察研究のデータに基づく因果関係の確 立が不可能であることに関わっており、特に、検討の対象になっている変数が心ないし脳の 中でほぼ同時に生起または変化している認知や感情などの心理的構成概念に関する変数で ある場合には、このことの顕現性は高いであろう。」(pp.180-181)

出典:吉田寿夫・村井潤一郎 「心理学的研究における重回帰分析の適用に関わる諸問題」 (『心理学研究』 92巻3号,公益社団法人 日本心理学会,2021年,pp.178-187) (下線部は出題者による)

- (1) 下線部(1)「重回帰分析」とは、どのような時に用いる研究手法であるか、自分の研究 分野あるいはその近接の研究分野の研究の仮想例を示して、説明しなさい。自分の研究分野 あるいはその近接の研究分野においては重回帰分析を用いる例は考えにくいということで あれば、どのような例でもよい(心理学に限らなくてもよい)。(400 字以内)
- (2) 下線部(2)「ある現象の生起に関わる因果関係を観察研究のデータのみに基づいて完全に明らかにするのは不可能である」とはどういうことか、説明しなさい。また、どのようにすれば、「ある現象の生起に関わる因果関係」をより完全に近いかたちで明らかにできるだろうか、説明しなさい。(300 字以内)
- (3) 下線部(3)「疑似相関」とはどういうものか、説明しなさい。(200字以内)
- (4)下線部(4)「想定しているものとは逆方向の因果関係が存在している可能性が否定できない」とはどういうことか、具体例を挙げて説明しなさい。(200字以内)
- (5)「音楽と化粧が気分に与える効果」というタイトルの研究があった場合、以下のどの組み合わせが正しいか、番号で答えなさい。
- ①音楽と化粧と気分はすべて独立変数
- ②音楽は独立変数、化粧と気分は従属変数
- ③音楽と化粧は独立変数、気分は従属変数
- ④音楽と化粧は従属変数、気分は独立変数

問3 臨床心理学専門(心理療法、心理検査)

1 以下の文章を読み、①から④の()にあてはまる言葉を記述しなさい。

心理アセスメントは、アセスメント面接、観察、心理検査などによって行われる。心理アセスメントとは、最初の面接から治療終了時のアセスメントまで、心理療法の途中でなされるものも含め、来談者の援助を効果的に行うための一連の系統的な情報収集の手続きを指す。アセスメントのために最初に行う面接は、(①)面接ともいわれ、心理相談や心理療法の第一歩となる。心理検査には、アセスメントの技法により、投影法、質問紙法、作業検査法などに分類される。心理検査は、基本的に、信頼性と妥当性が保証されていることが望ましい。信頼性を求める方法にはいくつかあるが、なかでも、同じ個人に対して一定期間をおいて同じテストを実施し、その相関係数を求める方法を(②)という。妥当性をとらえる観点もいくつかあり、検査項目の内容がどれだけ検査目的の領域をよく反映しているかを表すものを(③)妥当性という。心理検査は、いくつかを組み合わせて実施することが多いが、このことを、(④)を組むという。

- 2 心理検査に関する以下の(1)と(2)の問いに答えなさい。
- (1) 以下の文章を読み、①から⑨の() にあてはまる言葉を記述しなさい。

ドイツの精神医学者 Kretchmer, E.は、統合失調症患者にやせ型が多いなど、体格と性格に関係があると確信し、(①)を提唱した。しかし、(①)では性格を数値的に予測できないことから、その後、性格を人びとの間に共通に見られる特徴の集合と考える(②)へと転換がはかられた。現在、(②)により性格や人格をとらえる質問紙尺度には、(③)、(④)、Big Five などがある。Big Five は、人格を(⑤)、(⑥)、(⑦)、(⑧)、(⑥))、(②))。

- (2) 心理検査における構造化について、実施目的、刺激、反応の自由度、実施場面、被検者の意識的操作の 5 つの観点から、投影法であるロールシャッハおよび SCT、そして質問紙法の 3 つについて、比較しつつ説明しなさい。その際、5 つの項目に番号をふりなさい(例:①実施目的は、ロールシャッハでは・・・SCT では・・・質問紙法では・・・。②刺激について、ロールシャッハでは・・・SCT では・・・質問紙法では・・・。)。(400 字以内)
- 3 心理療法に関する以下の(1)と(2)の問いに答えなさい。
- (1) 以下の文章を読み、①から③の() にあてはまる言葉を記述しなさい。

個人精神療法が治療者と患者の相互作用で治療を進めていくのに対して、集団精神療法では、集団の中での参加者同士の相互作用が参加者個々人の洞察や学習を促進し、治療効果が生まれると考えられている。現代の集団精神療法の祖とされるのは、Slavson, S.R.とMoreno, J.L.の2人である。Moreno, J.L.は、(①)の創始者である。他にも、(②)は、集団力学に基づく人間関係の訓練法を開発し、Tグループなどに貢献している。第二次世界大戦中のイギリスにおける Foulkes, S.H.や Bion, W.R.らの精神力動的アプローチは、生活や活動をともにする入院やデイケアなど施設で、精神疾患、パーソナリティ障害、薬物依存などを対象に、心理的回復や成長を目指す(③)と呼ばれる長期的参加型集団アプローチの発展に貢献した。

(2) 集団精神療法の特徴や効果について述べなさい。(400字以内)

【参考文献】

齋藤 高雅 (編著) (2011). 『改訂新版 臨床心理学特論』 放送大学教育振興会 村上 宣寛・村上 千恵子 (編著) (2008). 『改訂 心理アセスメントハンドブック』 北大路 書房

問4 実践人間科学専門(心理学をコアとする人間科学)

以下の文章を読んで、設問に答えなさい。

新型コロナウィルスによる感染者の急増で、再び各地で緊急事態宣言が発令され、3 密を避ける制約が強化されている。対面のコミュニケーションが禁じられて、人と会えない不満がたまりつつある。一方、テレワークやオンラインの会議が普及して、メールや SNS の情報通信技術を用いれば、かえってコミュニケーションがとりやすくなっているという意見もある。ただ、フェイクニュースやヘイトスピーチ、風評被害など、言葉でだまされ傷つくことが増えると、言葉で世界を創ってきたはずの人間が、逆に言葉に支配されて苦しんでいるような気がしてくる。

いったいコミュニケーションとは何だろうか。私たちは何を伝え合っているのだろう。

長年、野生のゴリラと付き合ってわかったことは、心を読むのに言葉は要らないということだ。ゴリラは人間より体が大きく、強大な力を持っている。長く鋭い犬歯でかまれれば命を失う危険がある。実際、私は2頭のメスに襲われ大けがをした。だから、気持ちを読み違えれば大変なことになると自覚している。

でも仲良くなれば、ゴリラは心の許せる友人となる。声を出してあいさつすれば応えてくれるし、目を見ればいたずら心を起こしているとわかる。慣れれば、後ろ姿を見ただけで気持ちが伝わってくる。言葉が介在しなくても、ゴリラと気持ちを伝え合うことは可能なのだ。 人類の祖先も、言葉を話すまでは、おそらく声やしぐさを組み合わせた態度で気持ちを伝え合っていたはずだ。

(1)実は今でも気持ちを伝えるのに、意味のある言葉は要らない。「おはよう」「元気?」などと中身のない言葉を交わすだけで十分だ。声の抑揚や表情、態度で相手の気分や状態がわかるし、自分をどう感じているか伝わってくる。必要なのは言葉の持つ意味ではなく、声や身体の動きで作られる全体的な感触なのだ。

では、言葉はいったい何のために作られたのか。人間を含むサルや類人猿といった霊長類は、視覚優位の世界認識を持っている。視覚は五感のうちでまず物事を理解するのに用いられ、他者とたやすく共有できるからだ。次に聴覚、嗅覚、味覚、触覚の順に共有度が下がる。変な音が聞こえたり匂いがしたりすると、見て確かめたくなるのはその表れだ。それは霊長類の祖先が樹上で暮らし、夜から昼の世界に進出した時に、鳥と同じような立体視と色彩を感知する能力を身につけたことによる。言葉は五感を音によって表現する手段で、まずは視覚に対応するようになっている。形や色の表現が多彩なのも視覚に基づくからだ。

しかし、面白いことに信頼を高める五感は逆で、触覚や味覚、嗅覚といった他者と共有しにくい感覚が重要になる。それは他者と直接触れ合い、近接して身体を共鳴させたときに味わう感覚で、身体がつながったような気持ちになるからだろうと思う。逆説的に言えば、② 他者と共有しにくいからこそ、相手の気持ちを感じようという心の動きが生まれるのでは ないだろうか。

言葉もその感覚を伝える。ざらざら、すべすべ、べっとり、あまったるい、つんとくる、などの表現も多彩だ。しかし、これらの言葉は実際に体験してみないと腑に落ちないことが多いし、「卵の腐ったような臭い」などと実際の現象を例にとることも多くなる。それは、他者も同じように感じているかどうかを確かめることが難しいからである。でも、親密な人間関係を保つためには、視覚や聴覚以上にこれら三つの感覚を共有することが重要になる。共に暮らす上で、身体と心を共鳴させることが不可欠になるからだ。

人類はいつ言葉を話し始めたかは議論の分かれるところだ。装飾品が多く交易の証拠がある現代人(ホモ・サピエンス)だけが言葉を使うという説や、ネアンデルタール人、古くはホモ・エレクトスという原人さえ未発達な言葉を持っていたという説がある。ただ、確かなことは(3)言葉が重さを持たず、持ち運び自由なので、時空を超え物事を伝えられるようになったということだ。さらに、比喩を用いて性質の違うものをいっしょにできるし、現実にはないことを描ける。「オオカミのように残忍な」とか「天地がひっくり返るような大事件」などという表現である。そして、文字の登場によって情報の話し手がいなくても意味を持つ情報を伝えることが可能になった。

ここに問題が生じた。そもそも言葉は話者が目の前にいて交わされるものだったのに、文字によって話者がいなくても伝えられるようになった。情報機器の発達によってその力がさらに拡大した。本来、言葉は五感を代替して想像させる手段であって、コミュニケーションとしては不完全だ。話者の見えない言葉から気持ちを過剰に読んではいけない。

気持ちを伝えるためには、何百という優しい言葉を投げかけるより、じっと抱き合ったり、 手をつなぎ合ったりする方がいい。コロナ禍で制約されている身体の触れ合いを情報技術 に明け渡してはいけない。いのちをつなぐためには言葉の限界を理解し、もっと五感を生か すコミュニケーションを駆使すべきだと思う。

山極寿一「(科学季評) 気持ち伝わるコミュニケーション 言葉に限界、五感いかして」 (朝日新聞 2021年8月6日)

問1 下線部(1)について、これはどのような見方であろうか。この文章の主旨に即して説明 しなさい。(200 字以内)

問 2 下線部(2)について、コロナ禍の状況の中では、対人交流において新たな課題となる。 文章の主旨に沿ってこの課題について、考察しなさい。(400 字以内)

問3 下線部(3)について、ここで提示された言葉の働きは両義的であると考えられる。あなたの実践経験・生活経験に即して考察しなさい。(400字以内)

問題は回収します

2022 年度

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題

(2021年9月実施)

博士課程前期課程

英語

(問題用紙2枚,解答用紙1枚)

<一般入試方式>

<2 時限目 60 分>

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

次の文章を読み、本文の内容に即して下の問題に答えなさい。

One big challenge facing society is switching over to a more ecologically sustainable way of life. Making sustainable choices can be a tough sell for consumers, said Katherine White, PhD, a consumer psychologist at the Sauder School of Business at the University of British Columbia in Canada. "It's this really interesting <u>otrade-off</u> between some kind of cost to the self in order to do something for others," White said. The potential benefits of individual sustainable behaviors—recycling, choosing reusable goods, installing solar panels, eating less meat—are fuzzy and in the future, White said, and the status quo is largely set up to enable less-sustainable choices. But to tackle problems like climate change and environmental degradation, both systems and individuals will have to change, she said. "It's probably the most challenging behavior-change question of our time."

When consumer psychologists first began studying sustainable behavior in the 1970s, their focus was largely on how to identify consumers who were already prone to go green, said Remi Trudel, PhD, an associate professor of marketing at Boston University's Questrom School of Business. Over time, though, researchers have begun to focus on how to influence more people. "The biggest question is, how do we nudge people into behaving more sustainably?" Trudel said.

In a 2019 review, White and her colleagues organized research on the topic into a framework they call SHIFT. SHIFT stands for social influence, habit formation, individual self, feelings and cognition, and tangibility—each a key factor in whether a consumer makes green (or not-so-green) choices. Social influence is one of the most powerful tools available, White said. For example, a study in California led by New York University Stern School of Business associate professor of marketing Bryan Bollinger, PhD, found that every installation of solar panel on a home in a given ZIP code increased the likelihood of another install by 0.78 percentage points.

Habits refer to everyday behaviors, like getting coffee every morning in a disposable cup rather than bringing one's own mug, White said. Any way to make the greener choice easier can help break unsustainable habits, she said. Individual self refers to what resonates with any given person. It's relatively easy to connect with individuals who already care about sustainability, White said. But sometimes advertisers, marketers, and companies, need to work a little harder to link a person's preexisting values to sustainability.

For example, religious and cultural values can play a role in how people approach environmental values, said Elizabeth Minton, PhD, an associate professor of marketing at the University of Wyoming. "Western consumers view what's important as sustaining the family unit, sustaining the community, and sustaining the loves ones,' Minton said. Framing

sustainability—protecting the environment—as a way to protect family and community, then, becomes a way for marketers to encourage demand for sustainable products.

Research into feelings and cognition has found complex patterns. Some research suggests that while negative emotions such as guilt can promote environmentally friendly actions, guilt should be deployed with care. For example, after the United Kingdom instituted a policy of charging a small sum for disposable plastic grocery bags, mass communications researcher Sidharth Muralidharan, PhD, of Southern Methodist University, conducted an online survey that found that women who reported high guilt over forgetting to carry reusable bags were more likely to carry them more consistently, but men with high levels of guilt weren't, suggesting women were more susceptible to "green guilt" than men. In a follow-up experiment, Muralidharan and his colleagues exposed consumers to guilt-inducing advertisements based around either saving the environment or saving money by carrying reusable bags. They found that the environment-based ads were less effective at inducing guilt than the savings-based ads. In other words, guilt must be directed toward an effective target—which is not always related to sustainability—to work.

Finally, tangibility in the SHIFT framework refers to the need to link an action to real consequences, given that the outcome of any behavior is uncertain, White said. Focusing on the near-term benefits of sustainability, such as preventing current environmental degradation, can help, according to research led by Audhesh Paswan, PhD, a professor of marketing at the University of North Texas.

One big question is how younger generations of consumers will approach sustainable consumption. Gen Z—the colloquial term for anyone born between the late 1990 and around 2010—tends to hold consumer brands to high standards, said Brent Coker, PhD, a lecturer in marketing at the University of Melbourne. They're savvy to marketing strategies and don't like empty platitudes, he said, which can lead to anger at brands they perceive as doing social (or environmental) harm. However, social media marketing can lead to impulse purchasing in Gen Z, according to research by marketing lecturer Elmira Djafavora, PhD, of Northumbria University Newcastle, which could feed overconsumption.

Stephanie Pappas, "The goods on consumer behavior", Monitor on Psychology, Vol. 52, No. 4, pp.62-69, June 1, 2021, APA as publisher, and adapted with permission.

nudge into ~ing:~するよう促す

ZIP code:郵便番号

ads:広告

Gen Z: Z世代

platitude: 陳腐な、中身のない

- 問1 下線部①にあるトレードオフとはどのようなことか、文中にある例を使って説明しなさい。(100字以内)
- 問2 SHIFT について、本文の内容に即して説明しなさい。(550字以内)
- 問3 若い世代の消費行動について説明しなさい。(200字以内)

2022 年度

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題 (2021 年 9 月実施)

博士課程前期課程

小論文

(問題用紙3枚、解答用紙2枚)

<社会人·APU 入試方式>

<2 時限目 60 分>

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

以下の文章を読んで、問に答えなさい。

※なお、この文章における「就活」とは、日本の大学生が在学中に卒業後の初職を求めて おこなう「就職活動」の略である。「就活生」は就職活動をおこなう学生を指している。

大学生の就職活動の開始時期を定める「就活ルール」の廃止を巡る議論が盛んだ。本稿では、労働・教育制度の設計を研究する筆者の考えを示したい。

就活は学生の人生を大きく振り回す。就活中の心と体、財布の負担だけではない。就活時に不況でつまずいた若者はその後の長きにわたり苦労するという「溶けない就職氷河」現象がよく知られる。「就活」というと逃げ出してしまいたい閉塞感が漂い、逃げ道は自己啓発や就活自体の全否定になってしまいがちだ。

就活という現実を単に否定するのではなく、そもそも就活など考えなくても済むような 社会はあり得ないだろうか。筆者は「就活ルールを廃止すべきか否か」といった過度に狭い 問題設定から離れて、もっと抜本的な仕組み作りとそのための価値観を育むことが肝要だ と考えている。

そこで以下のような仕組みを提案したい(図参照)。全国の就活を仲介するデータ・計算 基盤を電脳空間上に作るというアイデアだ。この基盤を「就活機械」と呼ぼう。就活生と企 業は希望する段階で就活機械に登録する。就活ルールはなくし、登録はどれだけ早くても遅 くてもいい。

就活機械は各就活生に少数の企業の情報をまとめた企業メニューを提示する。情報には各企業での仕事内容、場所、待遇、仮想現実(VR)オフィス訪問などが含まれる。就活生は企業メニューの中から行けるとすればどこに行きたいか順位をつける。各企業もまた、少数の学生からなる就活生メニューの中で誰が欲しいか順位をつける。

この好みと企業・学生の属性情報を受け取った就活機械は、企業・学生の好みを学習する。 学習された好みは、全国数十万の企業の中で学生がどこに行きたがるかを予測するのに用いられ、就活機械が学生の選択を代行する。各企業が数百万の学生の中で誰を取りたがっているかも同じく就活機械が予測する。

星の数ほど就活生や企業が存在するので、どちらの就活生・企業がよいか決断できないということも多い。そうしたときはランダム(無作為)に選んでしまう。

機械で代行された企業・学生の好みは出会い系サイトが用いるようなお見合いアルゴリズム(情報処理の手順)に組み込まれる。お見合いアルゴリズムは定期的に企業と学生のカップルを提案する。

この最終段階で学生と企業に通知が行き、彼らは受けたければ受け、断りたければ断る。

つまり選択は就活機械に委ねられ自動化されるが、自動化された選択を拒否するという人間の選択は残る。さらに断り情報はその都度、就活機械に組み込まれ、就活機械は学生と企業の好みの変化を学習し、予測を更新していく。

この仕組みでは、人が直接時間と意識を使うのは最初のデータ入力と最後の選択だけだ。 出願アルゴリズムが学生の努力を代行し、採用アルゴリズムが企業の努力を代行し、後はお 見合いアルゴリズムが就活を代行する。

就活をできるだけデータと計算機の世界に委ねてしまうという就活の自動化である。

筆者はそうした自動化機械を実際に開発し、その性能を実世界データと仮想世界シミュレーションを用いて評価したことがある。その狙いは学生と企業でなく、学生と学校のカップル作りというやや異なるところにあったが、十万ほどの学生と千ほどの学校の選択代行と効率的な組み合わせの自動化は難なくできた。

自動就活では、企業も学生もとりあえず登録しておくだけで機械が勝手に就活してくれるので、多くの登録者を期待でき、市場の厚みを維持できる。どこかで働いている時も就活機械が不眠不休で新しい働き場所を探してくれる。

こうしていつでも心変わりしたり逃げ出したりできる状況を作っておけば、抜け駆け競争の必要も弱くなり、「就活ルールを廃止すべきか否か」ということはもはや大問題ではなくなる。

就活の自動化にはいくつか利点がある。第1に学生・企業が就活に動き回る労力や時間を 節約できる。特に大きな時間的・経済的負担を強いられがちな地方在住者の負担軽減は魅力 的だ。

第2に就職後にミスマッチが明らかになる「こんなはずじゃなかった」的な事態への緩衝材の役割を就活機械は果たす。失敗や後悔について、人はいかにそれらを避けるかを雄弁に語りがちだ。それにもかかわらず、100年前に比べて人が後悔しなくなったというエビデンス(証拠)を寡聞にして知らない。

むしろ後悔は世界や自分の変化の印であり、天気の移ろいのようなものだ。天気を変えようと不毛な努力で過去の人類のように消耗するより、失敗や後悔をあらかじめ許して、失敗を世界や機械のせいにして先に進める仕組みを作った方がよいのではないか。

その点で就活機械は自然と同じく複雑で、誰の責任で何が生み出されたのか簡単には分からない。

「こんなはずじゃなかった」場合には、自分の責任について悩むことなく、責任を就活機 械の複雑さに押しつけておけばよい。就活機械は無言ですべてを受け入れてくれるし、丁重 な謝罪機能を盛り込むことも可能だ。ミスマッチに直面した人は、新しい居場所を探して自 分のデータを就活機械に再送信すればよい。

こうした仕組みに懸念はあるだろう。機械に学生や企業の代行ができるわけがない、機械が間違いを犯したらどうするのだと思われるかもしれない。ましてや「困った時はランダムに選択」などもってのほかだと思われるだろう。

だが人間もしょっちゅう間違いを犯す。例えば前述した筆者の研究は、生身の学生はどの 行き先を選べばよいか混乱していて、自身の過去の選択を後悔して正そうと動き回ってい ることを発見した。機械より人間が優れていると思い込まなければならない理由は何もな い。

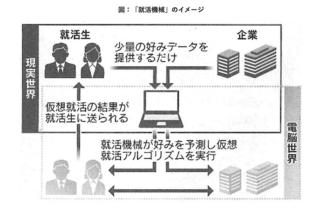
実際、15 の匿名米国企業の内部人事情報を用いた研究は、データとアルゴリズムに基づく機械採用が人事担当者の採用よりも高い生産性をもたらすことを示している(米ロチェスター大学のリサ・カーン氏らの研究)。米国最大のオンライン労働市場での実験でも、アルゴリズムによる自動人事推薦は人による人事と同じかそれ以上の成果を上げたと報告されている(米ニューヨーク大学のジョン・ホートン氏の研究)。

さらに言えば、むしろ間違いを歓迎してもよいのではないか。機械とランダム選択による 間違い込みの選択は、どの選択が正しいのか分からず混乱した私たちに、世界の新しい一面 を見せてくれるかもしれないからだ。

実際、自称ノマド芸術家のマックス・ホーキンス氏は、自分の好みによる「間違いのない」 選択に退屈し、毎朝サイコロで行き場所や食べる物を決め、偶然に身を委ねる生活を始め た。

機械と偶然による自動化された就活も、自分探しと自己責任で閉塞した社会に逃げ道を もたらしてくれるかもしれない。

いつの日か就活の仕組みと技術が際限なく改善されることで、もはや就活の存在を意識 しなくても済む未来を想像してみた。就活が大事だからではない。就活という苦しく退屈な 準備運動で疲弊してしまうことなく、もっと心躍る仕事と遊びに皆が時間と精神を使える ようになってほしいからだ。



出典:成田悠輔「就活ルールを考える(下) 「人間の選択」絶対視避けよ」 (日本経済新聞 2018年10月23日)

問

- (1) 筆者が考える「就活機械」の仕組みとその利点を要約しなさい。(300字以内)
- (2) あなたが考える「就活機械」の欠点を、本文を参考にして述べなさい。また、その欠点を踏まえて、あなたは「就活機械」の利用に賛成か反対か、理由とともに記述しなさい。 (300 字以内)
- (3) さまざまな個人の選択においても、データとアルゴリズムを用いて選択を手助けする 仕組みが今後用いられる可能性がある。そのような仕組みの利点と欠点について、あなたの 経験やあなたの志望する領域・分野の研究内容と関連付けて、具体的な例をあげつつ意見を 述べなさい。(600 字以内)

2022 年度

立命館大学 人間科学研究科入学試験問題 (2021 年 9 月実施)

博士課程前期課程

小論文

(問題用紙3枚、解答用紙2枚)

<外国人留学生入試方式>

<2 時限目 60 分>

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

以下の文章を読んで、問に答えなさい。

※なお、この文章における「就活」とは、日本の大学生が在学中に卒業後の初職を求めて おこなう「就職活動」の略である。「就活生」は就職活動をおこなう学生を指している。

大学生の就職活動の開始時期を定める「就活ルール」の廃止を巡る議論が盛んだ。本稿では、労働・教育制度の設計を研究する筆者の考えを示したい。

就活は学生の人生を大きく振り回す。就活中の心と体、財布の負担だけではない。就活時に不況でつまずいた若者はその後の長きにわたり苦労するという「溶けない就職氷河」現象がよく知られる。「就活」というと逃げ出してしまいたい閉塞感が漂い、逃げ道は自己啓発や就活自体の全否定になってしまいがちだ。

就活という現実を単に否定するのではなく、そもそも就活など考えなくても済むような 社会はあり得ないだろうか。筆者は「就活ルールを廃止すべきか否か」といった過度に狭い 問題設定から離れて、もっと抜本的な仕組み作りとそのための価値観を育むことが肝要だ と考えている。

そこで以下のような仕組みを提案したい(図参照)。全国の就活を仲介するデータ・計算 基盤を電脳空間上に作るというアイデアだ。この基盤を「就活機械」と呼ぼう。就活生と企 業は希望する段階で就活機械に登録する。就活ルールはなくし、登録はどれだけ早くても遅 くてもいい。

就活機械は各就活生に少数の企業の情報をまとめた企業メニューを提示する。情報には各企業での仕事内容、場所、待遇、仮想現実(VR)オフィス訪問などが含まれる。就活生は企業メニューの中から行けるとすればどこに行きたいか順位をつける。各企業もまた、少数の学生からなる就活生メニューの中で誰が欲しいか順位をつける。

この好みと企業・学生の属性情報を受け取った就活機械は、企業・学生の好みを学習する。 学習された好みは、全国数十万の企業の中で学生がどこに行きたがるかを予測するのに用いられ、就活機械が学生の選択を代行する。各企業が数百万の学生の中で誰を取りたがっているかも同じく就活機械が予測する。

星の数ほど就活生や企業が存在するので、どちらの就活生・企業がよいか決断できないということも多い。そうしたときはランダム(無作為)に選んでしまう。

機械で代行された企業・学生の好みは出会い系サイトが用いるようなお見合いアルゴリズム (情報処理の手順) に組み込まれる。お見合いアルゴリズムは定期的に企業と学生のカップルを提案する。

この最終段階で学生と企業に通知が行き、彼らは受けたければ受け、断りたければ断る。

つまり選択は就活機械に委ねられ自動化されるが、自動化された選択を拒否するという人間の選択は残る。さらに断り情報はその都度、就活機械に組み込まれ、就活機械は学生と企業の好みの変化を学習し、予測を更新していく。

この仕組みでは、人が直接時間と意識を使うのは最初のデータ入力と最後の選択だけだ。 出願アルゴリズムが学生の努力を代行し、採用アルゴリズムが企業の努力を代行し、後はお 見合いアルゴリズムが就活を代行する。

就活をできるだけデータと計算機の世界に委ねてしまうという就活の自動化である。

筆者はそうした自動化機械を実際に開発し、その性能を実世界データと仮想世界シミュレーションを用いて評価したことがある。その狙いは学生と企業でなく、学生と学校のカップル作りというやや異なるところにあったが、十万ほどの学生と千ほどの学校の選択代行と効率的な組み合わせの自動化は難なくできた。

自動就活では、企業も学生もとりあえず登録しておくだけで機械が勝手に就活してくれるので、多くの登録者を期待でき、市場の厚みを維持できる。どこかで働いている時も就活機械が不眠不休で新しい働き場所を探してくれる。

こうしていつでも心変わりしたり逃げ出したりできる状況を作っておけば、抜け駆け競争の必要も弱くなり、「就活ルールを廃止すべきか否か」ということはもはや大問題ではなくなる。

就活の自動化にはいくつか利点がある。第1に学生・企業が就活に動き回る労力や時間を 節約できる。特に大きな時間的・経済的負担を強いられがちな地方在住者の負担軽減は魅力 的だ。

第2に就職後にミスマッチが明らかになる「こんなはずじゃなかった」的な事態への緩衝材の役割を就活機械は果たす。失敗や後悔について、人はいかにそれらを避けるかを雄弁に語りがちだ。それにもかかわらず、100年前に比べて人が後悔しなくなったというエビデンス(証拠)を寡聞にして知らない。

むしろ後悔は世界や自分の変化の印であり、天気の移ろいのようなものだ。天気を変えようと不毛な努力で過去の人類のように消耗するより、失敗や後悔をあらかじめ許して、失敗を世界や機械のせいにして先に進める仕組みを作った方がよいのではないか。

その点で就活機械は自然と同じく複雑で、誰の責任で何が生み出されたのか簡単には分からない。

「こんなはずじゃなかった」場合には、自分の責任について悩むことなく、責任を就活機械の複雑さに押しつけておけばよい。就活機械は無言ですべてを受け入れてくれるし、丁重な謝罪機能を盛り込むことも可能だ。ミスマッチに直面した人は、新しい居場所を探して自

分のデータを就活機械に再送信すればよい。

こうした仕組みに懸念はあるだろう。機械に学生や企業の代行ができるわけがない、機械が間違いを犯したらどうするのだと思われるかもしれない。ましてや「困った時はランダムに選択」などもってのほかだと思われるだろう。

だが人間もしょっちゅう間違いを犯す。例えば前述した筆者の研究は、生身の学生はどの 行き先を選べばよいか混乱していて、自身の過去の選択を後悔して正そうと動き回ってい ることを発見した。機械より人間が優れていると思い込まなければならない理由は何もな い。

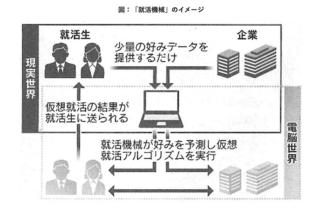
実際、15 の匿名米国企業の内部人事情報を用いた研究は、データとアルゴリズムに基づく機械採用が人事担当者の採用よりも高い生産性をもたらすことを示している(米ロチェスター大学のリサ・カーン氏らの研究)。米国最大のオンライン労働市場での実験でも、アルゴリズムによる自動人事推薦は人による人事と同じかそれ以上の成果を上げたと報告されている(米ニューヨーク大学のジョン・ホートン氏の研究)。

さらに言えば、むしろ間違いを歓迎してもよいのではないか。機械とランダム選択による 間違い込みの選択は、どの選択が正しいのか分からず混乱した私たちに、世界の新しい一面 を見せてくれるかもしれないからだ。

実際、自称ノマド芸術家のマックス・ホーキンス氏は、自分の好みによる「間違いのない」 選択に退屈し、毎朝サイコロで行き場所や食べる物を決め、偶然に身を委ねる生活を始め た。

機械と偶然による自動化された就活も、自分探しと自己責任で閉塞した社会に逃げ道を もたらしてくれるかもしれない。

いつの日か就活の仕組みと技術が際限なく改善されることで、もはや就活の存在を意識 しなくても済む未来を想像してみた。就活が大事だからではない。就活という苦しく退屈な 準備運動で疲弊してしまうことなく、もっと心躍る仕事と遊びに皆が時間と精神を使える ようになってほしいからだ。



出典:成田悠輔「就活ルールを考える(下) 「人間の選択」絶対視避けよ」 (日本経済新聞 2018年10月23日)

問

- (1) 筆者が考える「就活機械」の仕組みとその利点を要約しなさい。(300字以内)
- (2) あなたが考える「就活機械」の欠点を、本文を参考にして述べなさい。また、その欠点を踏まえて、あなたは「就活機械」の利用に賛成か反対か、理由とともに記述しなさい。 (500 字以内)

問題は回収します

2022 年度

人間科学研究科入学試験問題 (2022 年 2 月実施)

博士課程前期課程

「心理学」専門

公認心理師コース・一般コース

(問題用紙4枚、解答用紙2枚)

<一般·外国人留学生入試方式> < 1 時限目 90 分>

問1:心理学共通. 問2:心理学(心理学、心理学研究法)

- ※ 問1と問2の両方について解答しなさい。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 騎	後番 号	氏 名

間1 心理学共通

- [A] 以下の各問いについて、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 行為や運動の原因が自分であるという感覚は何というか。
 - 1. 運動主体感
 - 2. 自己主体感
 - 3. 自己運動感
 - 4. 自己帰属感
- (2) 「エイムズの部屋」で誤って知覚されているものとして<u>最も不適切なもの</u>を選びなさい。
 - 1. 色彩
 - 2. 大きさ
 - 3. 距離
 - 4. 形状
- (3) 視野内の空間構造が視覚皮質上で保たれて表象されていることを何というか。
 - 1. ソマトピー
 - 2. アイトラッキング
 - 3. アナトミー
 - 4. レチノトピー
- (4) 両親の離婚や別居が自分のせいだ(自己中心の心性)と思いやすい年齢層として最も適切なものを選びなさい。
 - 1.1 歳前後~3 歳前後
 - 2.3 歳前後~5 歳前後
 - 3.5 歳前後~8 歳前後
 - 4.8 歳前後~11 歳前後
- (5) Havighust, R.J.による発達段階はいくつに区分されているか選びなさい。
 - 1.60
 - 2.7つ
 - 3.8 >
 - 4.9 つ

- (6) 家族療法家に当てはまらない者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Ellis, A.
- (7) James, W.が提唱した自己に関する概念として、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 対話的自己
 - 2. 社会的自己
 - 3. 物質的自己
 - 4. 精神的自己
- (8) 扁桃体に関する以下の記述のうち、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 恐怖感情などの感情活動に関係する。
 - 2. 視床に対して交感神経の信号を伝達する。
 - 3. 損傷を受けると食欲に変動が生じる。
 - 4. アーモンド形の神経細胞の集まりである。
- (9) パーソナル・コンストラクト理論に関する以下の記述のうち、<u>関連しないもの</u>を選びなさい。
 - 1. 社会認知論的なパーソナリティ理論である。
 - 2. Spranger, E.が提唱した。
 - 3. 個人が事象をどう認識・解釈・予測するかからパーソナリティを説明している。
 - 4. この理論をもとに、役割コントラスト・レパートリー・テストが作られている。
- (10) Edwards, A.が 1953 年に提唱した「社会的望ましさバイアス」を低減させる技術として 用いられていないものを選びなさい。
 - 1. ラポール・ビルディング
 - 2. 強制選択法
 - 3. 匿名性
 - 4. 社会的望ましさ尺度の利用

- (11) 「第2種の過誤」の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 真であるはずの対立仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 2. 偽であるはずの対立仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
 - 3. 真であるはずの帰無仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 4. 偽であるはずの帰無仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
- (12) 帝国大学(現東京大学)を卒業し、後に官費を受けてライプツィヒ大学の Wundt, W.の下で指導を受け、京都帝国大学(現京都大学)に心理学講座を新設。1927 年には日本心理学会を創設・初代会長となった人物を選びなさい。
 - 1. 元良勇次郎
 - 2. 三隅二不二
 - 3. 松本亦太郎
 - 4. 森田正馬
- (13) 緩和ケアについて、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 緩和ケアとは、余命宣告をされている患者やその家族に対して行われる。
 - 2. 緩和ケアは疾患の早期から痛みや身体の問題、心理社会的問題の予防と対処を行う。
 - 3. スピリチュアルな問題も扱う。
 - 4. 緩和ケアは、人生の質(QOL)を改善するためのアプローチである。
- (14) 適応障害について、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 適応障害はストレス因から3か月以内に発症する。
 - 2. ストレス因が終結しても、症状は1年以上持続する場合がある。
 - 3. 適応障害は、特定可能なストレス因に対する不安や抑うつ、自律神経症状などの身体症状が生じる疾患である。
 - 4. 適応障害の治療として、ストレス因の除去とストレス因に対する本人の適応力を高めるという2つのアプローチがある。
- (15) 心理劇とは、Moreno, J.L.が開発した集団心理療法である。心理劇について述べた記述のうち、最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 参加者は台本のある劇の中で、ある役割を演じることが求められる。
 - 2. 心理劇の中で、自分への気づきや他者への共感性を深めることができる。
 - 3.1回のセッションは60分と決めてある。
 - 4. 心理劇は自発的に演じることが大切であるため、ウォーミングアップは必要ない。

- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- 特徵統合理論
- ・オペラント条件づけの消去
- ・いじめ
- 甘え
- ・アレキシサイミア
- ・沈黙の螺旋現象
- ・パーソナリティ心理学上の「状況論」
- ・参加者間計画と参加者内計画の違い
- タイプA行動パターン
- ・エゴグラム

問 2 心理学(心理学、心理学研究法)

問 2-1 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

Miller (1956) は短期記憶の容量を 7±2 チャンクとした。短期記憶を拡張した概念である作動記憶の容量を検討するために、Baddeley (1986) は 2 重課題を用いて 7 名の被験者に 5 日間にわたる実験を行った。被験者は聴覚的に提示された 0 個から 8 個の数字を覚える記憶課題と、文の真偽判断を行う課題を同時に行った。文の真偽判断課題では、2 つの文字の位置関係を表す文と、2 つの文字が視覚的に提示され、被験者は文が 2 つの文字の関係を正しく表しているかどうかを判断した。たとえば、「AがBの後に続く」と「BA」が提示される。この場合、被験者は「真」と判断すれば正答になる。提示される文は、受動態で記述されることも、否定形で記述されることもあった。

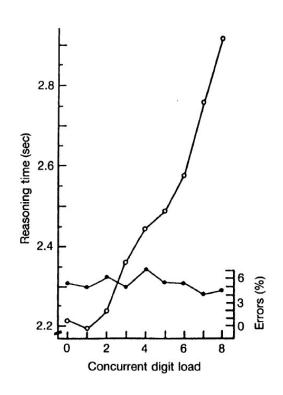


図 1 は文の真偽判断課題における推理時間と誤答

率を示している。記憶負荷の影響によって推理に要する時間は長くなるが、誤答率は 5%付近でほぼ一定であった。誤答率がほぼ一定であることから、記憶負荷が大きくなっても被験者は文の真偽判断を適切に行っていたことがわかる。

表 1 は、文の真偽判断と同時に行った記憶課題の誤答率を示している。記憶すべき数字の数が増えると記憶課題の誤答率は上昇し、数字が 8 個になると 20%近くになっていた。また、表 1 には、記憶課題で誤答した場合と誤答しなかった場合における文の真偽判断課題での推理時間が示されている。記憶課題で誤答した場合には推理に要する時間が記憶課題で正答した場合より長くなっていた。

	1-4	5	6	7	8
Percent incorrect memory sequences	0	2.0	3.1	9.4	19.3
Correct reasoning time when memory errors occurred (sec)	_	3.42	3.75	4.15	3.95
Correct reasoning time when memory task was errorless (sec)	2.31	2.48	2.58	2.76	2.93

表1 記憶課題の正誤と文の検証課題での推理時間との関係

Reprinted from *Working Memory*, by Alan Baddeley, Oxford Publishing Limited. Copyright © 1986 Oxford Publishing Limited. Reproduced with permission of the Licensor through PLSclear.

- Miller G.A. (1956) The magical number seven, plus or minus two: Some limits on our capacity for processing information. *Psychological Review*, *63*, 81-97.
- (1) Baddeley (1986) は、記憶すべき数字の数が多くなると文の真偽判断に要する時間は長くなるが、記憶すべき数字の数が8個になっても低い誤答率が維持される点に着目した(図1)。この実験結果からどのようなことがいえるか、作動記憶の容量の観点から述べなさい。(120字以内)
- (2) 記憶課題で誤答した場合には推理に要する時間が記憶課題で正答した場合より長くなった(表 1)。この点について、数字の記憶課題と文の検証課題で共通の処理資源を分け合っていたと仮定すると説明できないと Baddeley (1986) は主張する。Baddeley (1986)の主張を説明し、記憶課題での誤答と推理に要する時間の関係についてどのような解釈が可能か述べなさい。(180字以内)

問 2-2 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

3つの条件を比較する実験を行ったところ、表 2 に示すような結果になった。3 条件の平均値について、有意水準を 5%に設定して、1 要因の分散分析を行った。

分散分析の結果は F(2,57) = 3.75, p = .03 であった。

 条件

 A
 B
 C

 平均
 2.10
 2.12
 2.50

 SD
 0.48
 0.59
 0.49

表 2 架空の実験の結果

- (1) 有意水準の意味について「帰無仮説」という言葉を使って説明しなさい。(50 字以内)
- (2) 分散分析の結果 (F値) の自由度を示しなさい。
- (3) 分散分析の結果に示された p の意味について「F分布」という言葉を使って説明しなさい。(50 字以内)
- (4) 分散分析の結果から主効果は有意であるといえるかどうかを理由とともに述べなさい。 (50 字以内)

問題は回収します

2022 年度

人間科学研究科入学試験問題 (2022 年 2 月実施)

博士課程前期課程

「臨床心理学」専門

公認心理師コース

(問題用紙3枚、解答用紙2枚)

<一般·外国人留学生入試方式> < 1 時限目 90 分>

問 1: 心理学共通, 問 2: 臨床心理学(心理療法、心理検査)

- ※ 問1と問2の両方について解答しなさい。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

間1 心理学共通

- [A] 以下の各問いについて、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 行為や運動の原因が自分であるという感覚は何というか。
 - 1. 運動主体感
 - 2. 自己主体感
 - 3. 自己運動感
 - 4. 自己帰属感
- (2) 「エイムズの部屋」で誤って知覚されているものとして<u>最も不適切なもの</u>を選びなさい。
 - 1. 色彩
 - 2. 大きさ
 - 3. 距離
 - 4. 形状
- (3) 視野内の空間構造が視覚皮質上で保たれて表象されていることを何というか。
 - 1. ソマトピー
 - 2. アイトラッキング
 - 3. アナトミー
 - 4. レチノトピー
- (4) 両親の離婚や別居が自分のせいだ(自己中心の心性)と思いやすい年齢層として最も適切なものを選びなさい。
 - 1.1 歳前後~3 歳前後
 - 2.3 歳前後~5 歳前後
 - 3.5 歳前後~8 歳前後
 - 4.8 歳前後~11 歳前後
- (5) Havighust, R.J.による発達段階はいくつに区分されているか選びなさい。
 - 1.60
 - 2.70
 - 3.8 >
 - 4.9 つ

- (6) 家族療法家に当てはまらない者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Ellis, A.
- (7) James, W.が提唱した自己に関する概念として、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 対話的自己
 - 2. 社会的自己
 - 3. 物質的自己
 - 4. 精神的自己
- (8) 扁桃体に関する以下の記述のうち、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 恐怖感情などの感情活動に関係する。
 - 2. 視床に対して交感神経の信号を伝達する。
 - 3. 損傷を受けると食欲に変動が生じる。
 - 4. アーモンド形の神経細胞の集まりである。
- (9) パーソナル・コンストラクト理論に関する以下の記述のうち、<u>関連しないもの</u>を選びなさい。
 - 1. 社会認知論的なパーソナリティ理論である。
 - 2. Spranger, E.が提唱した。
 - 3. 個人が事象をどう認識・解釈・予測するかからパーソナリティを説明している。
 - 4. この理論をもとに、役割コントラスト・レパートリー・テストが作られている。
- (10) Edwards, A.が 1953 年に提唱した「社会的望ましさバイアス」を低減させる技術として 用いられていないものを選びなさい。
 - 1. ラポール・ビルディング
 - 2. 強制選択法
 - 3. 匿名性
 - 4. 社会的望ましさ尺度の利用

- (11) 「第2種の過誤」の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 真であるはずの対立仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 2. 偽であるはずの対立仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
 - 3. 真であるはずの帰無仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 4. 偽であるはずの帰無仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
- (12) 帝国大学(現東京大学)を卒業し、後に官費を受けてライプツィヒ大学の Wundt, W.の下で指導を受け、京都帝国大学(現京都大学)に心理学講座を新設。1927 年には日本心理学会を創設・初代会長となった人物を選びなさい。
 - 1. 元良勇次郎
 - 2. 三隅二不二
 - 3. 松本亦太郎
 - 4. 森田正馬
- (13) 緩和ケアについて、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 緩和ケアとは、余命宣告をされている患者やその家族に対して行われる。
 - 2. 緩和ケアは疾患の早期から痛みや身体の問題、心理社会的問題の予防と対処を行う。
 - 3. スピリチュアルな問題も扱う。
 - 4. 緩和ケアは、人生の質(QOL)を改善するためのアプローチである。
- (14) 適応障害について、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 適応障害はストレス因から3か月以内に発症する。
 - 2. ストレス因が終結しても、症状は1年以上持続する場合がある。
 - 3. 適応障害は、特定可能なストレス因に対する不安や抑うつ、自律神経症状などの身体症状が生じる疾患である。
 - 4. 適応障害の治療として、ストレス因の除去とストレス因に対する本人の適応力を高めるという2つのアプローチがある。
- (15) 心理劇とは、Moreno, J.L.が開発した集団心理療法である。心理劇について述べた記述のうち、最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 参加者は台本のある劇の中で、ある役割を演じることが求められる。
 - 2. 心理劇の中で、自分への気づきや他者への共感性を深めることができる。
 - 3.1回のセッションは60分と決めてある。
 - 4. 心理劇は自発的に演じることが大切であるため、ウォーミングアップは必要ない。

- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- 特徵統合理論
- ・オペラント条件づけの消去
- ・いじめ
- 甘え
- ・アレキシサイミア
- ・沈黙の螺旋現象
- ・パーソナリティ心理学上の「状況論」
- ・参加者間計画と参加者内計画の違い
- タイプA行動パターン
- ・エゴグラム

問 2 臨床心理学(心理療法、心理検査)

写)の課題からなる。

その他、時計盤の文字と時刻を示す針を描いてもらう(③))などもよく用いられる。なお日本人で最も多い認知症は(④))で、二番目に多い認知症は(⑤))である。

(②)は、もとは精神疾患をもつ患者のなかから認知機能に問題をもつ患者を検出することを目的としていたが、認知機能の検査として広く用いられるようになった。検査は見当識(時、場所)、記銘、注意と計算、再生、呼称、復唱、理解、読字、書字、描画(図形模

- (2)心理職が関係するコンサルテーションについて、学校臨床を例に「コンサルタント」、「コンサルティ」、「クライアント」の3つの用語を全て使ってその特徴も含めて説明しなさい。(400字以内)
- 3. チーム医療における心理職の役割について、一疾患を例に挙げながら患者の家族支援の側面から、述べさない。(400 字以内)

問題は回収します

2022 年度

人間科学研究科入学試験問題 (2022 年 2 月実施)

博士課程前期課程

「臨床心理学」専門

一般コース

(問題用紙4枚、解答用紙3枚)

<一般・社会人・外国人留学生入試方式> < 1 時限目 90 分>

問 1:心理学共通, 問 2:心理学(心理学、心理学研究法), 問 3:臨床心理学(心理療法、心理検査)

- ※ 問 1~3 の中から 2 問を選び解答しなさい。ただし問 3 は必ず含むこと。 3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

間1 心理学共通

- [A] 以下の各問いについて、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 行為や運動の原因が自分であるという感覚は何というか。
 - 1. 運動主体感
 - 2. 自己主体感
 - 3. 自己運動感
 - 4. 自己帰属感
- (2) 「エイムズの部屋」で誤って知覚されているものとして<u>最も不適切なもの</u>を選びなさい。
 - 1. 色彩
 - 2. 大きさ
 - 3. 距離
 - 4. 形状
- (3) 視野内の空間構造が視覚皮質上で保たれて表象されていることを何というか。
 - 1. ソマトピー
 - 2. アイトラッキング
 - 3. アナトミー
 - 4. レチノトピー
- (4) 両親の離婚や別居が自分のせいだ(自己中心の心性)と思いやすい年齢層として最も適切なものを選びなさい。
 - 1.1 歳前後~3 歳前後
 - 2.3 歳前後~5 歳前後
 - 3.5 歳前後~8 歳前後
 - 4.8 歳前後~11 歳前後
- (5) Havighust, R.J.による発達段階はいくつに区分されているか選びなさい。
 - 1.60
 - 2.70
 - 3.8 >
 - 4.9 つ

- (6) 家族療法家に当てはまらない者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Ellis, A.
- (7) James, W.が提唱した自己に関する概念として、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 対話的自己
 - 2. 社会的自己
 - 3. 物質的自己
 - 4. 精神的自己
- (8) 扁桃体に関する以下の記述のうち、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 恐怖感情などの感情活動に関係する。
 - 2. 視床に対して交感神経の信号を伝達する。
 - 3. 損傷を受けると食欲に変動が生じる。
 - 4. アーモンド形の神経細胞の集まりである。
- (9) パーソナル・コンストラクト理論に関する以下の記述のうち、<u>関連しないもの</u>を選びなさい。
 - 1. 社会認知論的なパーソナリティ理論である。
 - 2. Spranger, E.が提唱した。
 - 3. 個人が事象をどう認識・解釈・予測するかからパーソナリティを説明している。
 - 4. この理論をもとに、役割コントラスト・レパートリー・テストが作られている。
- (10) Edwards, A.が 1953 年に提唱した「社会的望ましさバイアス」を低減させる技術として 用いられていないものを選びなさい。
 - 1. ラポール・ビルディング
 - 2. 強制選択法
 - 3. 匿名性
 - 4. 社会的望ましさ尺度の利用

- (11) 「第2種の過誤」の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 真であるはずの対立仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 2. 偽であるはずの対立仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
 - 3. 真であるはずの帰無仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 4. 偽であるはずの帰無仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
- (12) 帝国大学(現東京大学)を卒業し、後に官費を受けてライプツィヒ大学の Wundt, W.の下で指導を受け、京都帝国大学(現京都大学)に心理学講座を新設。1927 年には日本心理学会を創設・初代会長となった人物を選びなさい。
 - 1. 元良勇次郎
 - 2. 三隅二不二
 - 3. 松本亦太郎
 - 4. 森田正馬
- (13) 緩和ケアについて、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 緩和ケアとは、余命宣告をされている患者やその家族に対して行われる。
 - 2. 緩和ケアは疾患の早期から痛みや身体の問題、心理社会的問題の予防と対処を行う。
 - 3. スピリチュアルな問題も扱う。
 - 4. 緩和ケアは、人生の質(QOL)を改善するためのアプローチである。
- (14) 適応障害について、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 適応障害はストレス因から3か月以内に発症する。
 - 2. ストレス因が終結しても、症状は1年以上持続する場合がある。
 - 3. 適応障害は、特定可能なストレス因に対する不安や抑うつ、自律神経症状などの身体症状が生じる疾患である。
 - 4. 適応障害の治療として、ストレス因の除去とストレス因に対する本人の適応力を高めるという2つのアプローチがある。
- (15) 心理劇とは、Moreno, J.L.が開発した集団心理療法である。心理劇について述べた記述のうち、最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 参加者は台本のある劇の中で、ある役割を演じることが求められる。
 - 2. 心理劇の中で、自分への気づきや他者への共感性を深めることができる。
 - 3.1回のセッションは60分と決めてある。
 - 4. 心理劇は自発的に演じることが大切であるため、ウォーミングアップは必要ない。

- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- 特徵統合理論
- ・オペラント条件づけの消去
- ・いじめ
- 甘え
- ・アレキシサイミア
- ・沈黙の螺旋現象
- ・パーソナリティ心理学上の「状況論」
- ・参加者間計画と参加者内計画の違い
- タイプA行動パターン
- ・エゴグラム

問2 心理学(心理学、心理学研究法)

問 2-1 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

Miller (1956) は短期記憶の容量を 7±2 チャンクとした。短期記憶を拡張した概念である作動記憶の容量を検討するために、Baddeley (1986) は 2 重課題を用いて 7 名の被験者に 5 日間にわたる実験を行った。被験者は聴覚的に提示された 0 個から 8 個の数字を覚える記憶課題と、文の真偽判断を行う課題を同時に行った。文の真偽判断課題では、2 つの文字の位置関係を表す文と、2 つの文字が視覚的に提示され、被験者は文が 2 つの文字の関係を正しく表しているかどうかを判断した。たとえば、「AがBの後に続く」と「BA」が提示される。この場合、被験者は「真」と判断すれば正答になる。提示される文は、受動態で記述されることも、否定形で記述されることもあった。

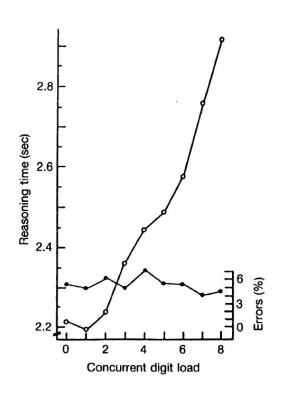


図 1 は文の真偽判断課題における推理時間と誤答

率を示している。記憶負荷の影響によって推理に要する時間は長くなるが、誤答率は 5%付近でほぼ一定であった。誤答率がほぼ一定であることから、記憶負荷が大きくなっても被験者は文の真偽判断を適切に行っていたことがわかる。

表 1 は、文の真偽判断と同時に行った記憶課題の誤答率を示している。記憶すべき数字の数が増えると記憶課題の誤答率は上昇し、数字が 8 個になると 20%近くになっていた。また、表 1 には、記憶課題で誤答した場合と誤答しなかった場合における文の真偽判断課題での推理時間が示されている。記憶課題で誤答した場合には推理に要する時間が記憶課題で正答した場合より長くなっていた。

	1-4	5	6	7	8
Percent incorrect memory sequences	0	2.0	3.1	9.4	19.3
Correct reasoning time when memory errors occurred (sec)	_	3.42	3.75	4.15	3.95
Correct reasoning time when memory task was errorless (sec)	2.31	2.48	2.58	2.76	2.93

表1 記憶課題の正誤と文の検証課題での推理時間との関係

Reprinted from *Working Memory*, by Alan Baddeley, Oxford Publishing Limited. Copyright © 1986 Oxford Publishing Limited. Reproduced with permission of the Licensor through PLS clear.

- Miller G.A. (1956) The magical number seven, plus or minus two: Some limits on our capacity for processing information. *Psychological Review*, *63*, 81-97.
- (1) Baddeley (1986) は、記憶すべき数字の数が多くなると文の真偽判断に要する時間は長くなるが、記憶すべき数字の数が8個になっても低い誤答率が維持される点に着目した(図1)。この実験結果からどのようなことがいえるか、作動記憶の容量の観点から述べなさい。(120字以内)
- (2) 記憶課題で誤答した場合には推理に要する時間が記憶課題で正答した場合より長くなった(表 1)。この点について、数字の記憶課題と文の検証課題で共通の処理資源を分け合っていたと仮定すると説明できないと Baddeley (1986) は主張する。Baddeley (1986)の主張を説明し、記憶課題での誤答と推理に要する時間の関係についてどのような解釈が可能か述べなさい。(180字以内)

問 2-2 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

3つの条件を比較する実験を行ったところ、表 2 に示すような結果になった。3 条件の平均値について、有意水準を 5%に設定して、1 要因の分散分析を行った。

分散分析の結果は F(2,57) = 3.75, p = .03 であった。

		条件	
	А	В	С
平均	2.10	2.12	2.50
SD	0.48	0.59	0.49

表 2 架空の実験の結果

- (1) 有意水準の意味について「帰無仮説」という言葉を使って説明しなさい。(50 字以内)
- (2) 分散分析の結果 (F値) の自由度を示しなさい。
- (3) 分散分析の結果に示されたpの意味について「F分布」という言葉を使って説明しなさい。(50 字以内)
- (4) 分散分析の結果から主効果は有意であるといえるかどうかを理由とともに述べなさい。 (50 字以内)

問3 臨床心理学(心理療法、心理検査)

1.以下の心理検査の説明文に対応する検査名を()に書きなさい。
① 交流分析理論に基づいて考案された自我状態の主観的表現法であり、CP、NP、A、FC、
AC の5つの自我状態からパーソナリティが理解される。 ()
② 「人をひとり描いてください。頭から足の先まで全部ですよ。しっかりやってね」と教
示し、描かれた人物像について 50 の採点項目とそれぞれの評価基準に従って採点する。
()
③ Wertheimer, M. が作成した 9 種類の幾何学図形を刺激とし、順に提示して A 4 判の用
紙に模写してもらう検査。 ()
④ 刺激として書きかけの文章を用意し、続きを考えてもらう検査。かつては知的総合力を
測る検査として使われてきたが、現在はパーソナリティ検査として行われることが多い。
()
⑤ 認知機能を評価する検査の一つで、PASS 理論に対応した 4 領域 (継次処理、同時処理、
注意、プランニング)の標準得点と全検査標準得点が得られる。()
2. (1) 以下の文章を読み、①から⑤の()にあてはまる言葉を記述しなさい。
高齢者の認知機能、とりわけ認知症のスクリーニングに用いられる簡便な認知機能検査
としておもに (①) と (②) がある。(①) は、年齢、時の見当識、場所の見
当識、復唱、計算、数の逆唱、再生、呼称、想起の課題からなり、国内で広く使われている。
(②)は、もとは精神疾患をもつ患者のなかから認知機能に問題をもつ患者を検出する
ことを目的としていたが、認知機能の検査として広く用いられるようになった。検査は見当
識(時、場所)、記銘、注意と計算、再生、呼称、復唱、理解、読字、書字、描画(図形模
写)の課題からなる。
その他、時計盤の文字と時刻を示す針を描いてもらう(③))などもよく用いられる。
なお日本人で最も多い認知症は(④)で、二番目に多い認知症は(⑤)である。
(2)心理職が関係するコンサルテーションについて、学校臨床を例に「コンサルタント」、

3. チーム医療における心理職の役割について、一疾患を例に挙げながら患者の家族支援の側面から、述べさない。(400 字以内)

「コンサルティ」、「クライアント」の3つの用語を全て使ってその特徴も含めて説明しなさ

い。(400字以内)

問題は回収します

2022 年度

人間科学研究科入学試験問題 (2022 年 2 月実施)

博士課程前期課程

「実践人間科学」専門

一般コース

(問題用紙5枚、解答用紙4枚)

<一般・外国人留学生入試方式>

<1時限目 90分>

問1:心理学共通, 問2:心理学(心理学、心理学研究法), 問3:臨床心理学 (心理療法、心理検査), 問4:実践人間科学(心理学をコアとする人間科 学)

- ※ <u>問 1~4 の中から 2 問を選び解答しなさい。ただし問 4 は必ず含むこと。</u> 3 問以上解答した場合は、すべてを採点対象としない。
- ※ 解答する問の解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験	番号	氏 名	

間1 心理学共通

- [A] 以下の各問いについて、正しいと思うものを選択肢の中から1つ選びなさい。(各2点)
- (1) 行為や運動の原因が自分であるという感覚は何というか。
 - 1. 運動主体感
 - 2. 自己主体感
 - 3. 自己運動感
 - 4. 自己帰属感
- (2) 「エイムズの部屋」で誤って知覚されているものとして<u>最も不適切なもの</u>を選びなさい。
 - 1. 色彩
 - 2. 大きさ
 - 3. 距離
 - 4. 形状
- (3) 視野内の空間構造が視覚皮質上で保たれて表象されていることを何というか。
 - 1. ソマトピー
 - 2. アイトラッキング
 - 3. アナトミー
 - 4. レチノトピー
- (4) 両親の離婚や別居が自分のせいだ(自己中心の心性)と思いやすい年齢層として最も適切なものを選びなさい。
 - 1.1 歳前後~3 歳前後
 - 2.3 歳前後~5 歳前後
 - 3.5 歳前後~8 歳前後
 - 4.8 歳前後~11 歳前後
- (5) Havighust, R.J.による発達段階はいくつに区分されているか選びなさい。
 - 1.60
 - 2.70
 - 3.8 >
 - 4.9 つ

- (6) 家族療法家に当てはまらない者は誰か選びなさい。
 - 1. Minuchin, S.
 - 2. Bowen, M.
 - 3. Haley, J.
 - 4. Ellis, A.
- (7) James, W.が提唱した自己に関する概念として、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 対話的自己
 - 2. 社会的自己
 - 3. 物質的自己
 - 4. 精神的自己
- (8) 扁桃体に関する以下の記述のうち、関連しないものを選びなさい。
 - 1. 恐怖感情などの感情活動に関係する。
 - 2. 視床に対して交感神経の信号を伝達する。
 - 3. 損傷を受けると食欲に変動が生じる。
 - 4. アーモンド形の神経細胞の集まりである。
- (9) パーソナル・コンストラクト理論に関する以下の記述のうち、<u>関連しないもの</u>を選びなさい。
 - 1. 社会認知論的なパーソナリティ理論である。
 - 2. Spranger, E.が提唱した。
 - 3. 個人が事象をどう認識・解釈・予測するかからパーソナリティを説明している。
 - 4. この理論をもとに、役割コントラスト・レパートリー・テストが作られている。
- (10) Edwards, A.が 1953 年に提唱した「社会的望ましさバイアス」を低減させる技術として 用いられていないものを選びなさい。
 - 1. ラポール・ビルディング
 - 2. 強制選択法
 - 3. 匿名性
 - 4. 社会的望ましさ尺度の利用

- (11) 「第2種の過誤」の説明として最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 真であるはずの対立仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 2. 偽であるはずの対立仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
 - 3. 真であるはずの帰無仮説を棄却することによって生じる誤り。
 - 4. 偽であるはずの帰無仮説を棄却しないことにより生じる誤り。
- (12) 帝国大学(現東京大学)を卒業し、後に官費を受けてライプツィヒ大学の Wundt, W.の下で指導を受け、京都帝国大学(現京都大学)に心理学講座を新設。1927 年には日本心理学会を創設・初代会長となった人物を選びなさい。
 - 1. 元良勇次郎
 - 2. 三隅二不二
 - 3. 松本亦太郎
 - 4. 森田正馬
- (13) 緩和ケアについて、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 緩和ケアとは、余命宣告をされている患者やその家族に対して行われる。
 - 2. 緩和ケアは疾患の早期から痛みや身体の問題、心理社会的問題の予防と対処を行う。
 - 3. スピリチュアルな問題も扱う。
 - 4. 緩和ケアは、人生の質 (QOL) を改善するためのアプローチである。
- (14) 適応障害について、誤りのあるものを選びなさい。
 - 1. 適応障害はストレス因から3か月以内に発症する。
 - 2. ストレス因が終結しても、症状は1年以上持続する場合がある。
 - 3. 適応障害は、特定可能なストレス因に対する不安や抑うつ、自律神経症状などの身体症状が生じる疾患である。
 - 4. 適応障害の治療として、ストレス因の除去とストレス因に対する本人の適応力を高めるという2つのアプローチがある。
- (15) 心理劇とは、Moreno, J.L.が開発した集団心理療法である。心理劇について述べた記述のうち、最も適切なものを選びなさい。
 - 1. 参加者は台本のある劇の中で、ある役割を演じることが求められる。
 - 2. 心理劇の中で、自分への気づきや他者への共感性を深めることができる。
 - 3.1回のセッションは60分と決めてある。
 - 4. 心理劇は自発的に演じることが大切であるため、ウォーミングアップは必要ない。

- [B] 以下の用語の中から任意の 5 個を選択し、それぞれ 50~100 字で意味をわかりやすく説明しなさい。解答欄の【】に選択した用語を記入しなさい。順番は問わない。
- 特徵統合理論
- ・オペラント条件づけの消去
- ・いじめ
- 甘え
- ・アレキシサイミア
- ・沈黙の螺旋現象
- ・パーソナリティ心理学上の「状況論」
- ・参加者間計画と参加者内計画の違い
- タイプA行動パターン
- ・エゴグラム

問 2 心理学(心理学、心理学研究法)

問 2-1 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

Miller (1956) は短期記憶の容量を 7±2 チャンクとした。短期記憶を拡張した概念である作動記憶の容量を検討するために、Baddeley (1986) は 2 重課題を用いて 7 名の被験者に 5 日間にわたる実験を行った。被験者は聴覚的に提示された 0 個から 8 個の数字を覚える記憶課題と、文の真偽判断を行う課題を同時に行った。文の真偽判断課題では、2 つの文字の位置関係を表す文と、2 つの文字が視覚的に提示され、被験者は文が 2 つの文字の関係を正しく表しているかどうかを判断した。たとえば、「AがBの後に続く」と「BA」が提示される。この場合、被験者は「真」と判断すれば正答になる。提示される文は、受動態で記述されることも、否定形で記述されることもあった。

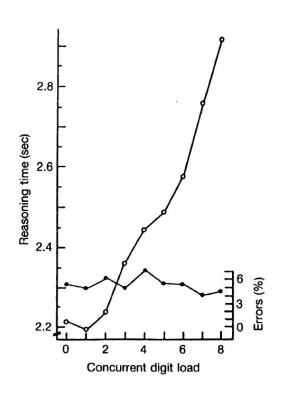


図 1 は文の真偽判断課題における推理時間と誤答

率を示している。記憶負荷の影響によって推理に要する時間は長くなるが、誤答率は 5%付近でほぼ一定であった。誤答率がほぼ一定であることから、記憶負荷が大きくなっても被験者は文の真偽判断を適切に行っていたことがわかる。

表 1 は、文の真偽判断と同時に行った記憶課題の誤答率を示している。記憶すべき数字の数が増えると記憶課題の誤答率は上昇し、数字が 8 個になると 20%近くになっていた。また、表 1 には、記憶課題で誤答した場合と誤答しなかった場合における文の真偽判断課題での推理時間が示されている。記憶課題で誤答した場合には推理に要する時間が記憶課題で正答した場合より長くなっていた。

	1-4	5	6	7	8
Percent incorrect memory sequences	0	2.0	3.1	9.4	19.3
Correct reasoning time when memory errors occurred (sec)	_	3.42	3.75	4.15	3.95
Correct reasoning time when memory task was errorless (sec)	2.31	2.48	2.58	2.76	2.93

表1 記憶課題の正誤と文の検証課題での推理時間との関係

Reprinted from *Working Memory*, by Alan Baddeley, Oxford Publishing Limited. Copyright © 1986 Oxford Publishing Limited. Reproduced with permission of the Licensor through PLS clear.

Miller G.A. (1956) The magical number seven, plus or minus two: Some limits on our capacity for processing information. *Psychological Review*, *63*, 81-97.

- (1) Baddeley (1986) は、記憶すべき数字の数が多くなると文の真偽判断に要する時間は長くなるが、記憶すべき数字の数が8個になっても低い誤答率が維持される点に着目した(図1)。この実験結果からどのようなことがいえるか、作動記憶の容量の観点から述べなさい。(120字以内)
- (2) 記憶課題で誤答した場合には推理に要する時間が記憶課題で正答した場合より長くなった(表 1)。この点について、数字の記憶課題と文の検証課題で共通の処理資源を分け合っていたと仮定すると説明できないと Baddeley (1986) は主張する。Baddeley (1986)の主張を説明し、記憶課題での誤答と推理に要する時間の関係についてどのような解釈が可能か述べなさい。(180字以内)

問 2-2 以下の文章を読んで設問に答えなさい。

3つの条件を比較する実験を行ったところ、表 2 に示すような結果になった。3 条件の平均値について、有意水準を 5%に設定して、1 要因の分散分析を行った。

分散分析の結果は F(2,57) = 3.75, p = .03 であった。

 条件

 A
 B
 C

 平均
 2.10
 2.12
 2.50

 SD
 0.48
 0.59
 0.49

表 2 架空の実験の結果

- (1) 有意水準の意味について「帰無仮説」という言葉を使って説明しなさい。(50 字以内)
- (2) 分散分析の結果 (F値) の自由度を示しなさい。
- (3) 分散分析の結果に示されたpの意味について「F分布」という言葉を使って説明しなさい。(50 字以内)
- (4) 分散分析の結果から主効果は有意であるといえるかどうかを理由とともに述べなさい。 (50 字以内)

問3 臨床心理学(心理療法、心理検査)

1. 以下の心理検査の説明文に対応する検査名を()に書きなさい。
① 交流分析理論に基づいて考案された自我状態の主観的表現法であり、CP、NP、A、FC、
ACの5つの自我状態からパーソナリティが理解される。 ()
② 「人をひとり描いてください。頭から足の先まで全部ですよ。しっかりやってね」と教
示し、描かれた人物像について 50 の採点項目とそれぞれの評価基準に従って採点する。
()
③ Wertheimer, M. が作成した 9 種類の幾何学図形を刺激とし、順に提示して A 4 判の用
紙に模写してもらう検査。 ()
④ 刺激として書きかけの文章を用意し、続きを考えてもらう検査。かつては知的総合力を
測る検査として使われてきたが、現在はパーソナリティ検査として行われることが多い。
()
⑤ 認知機能を評価する検査の一つで、PASS 理論に対応した 4 領域 (継次処理、同時処理、
注意、プランニング)の標準得点と全検査標準得点が得られる。()
2. (1) 以下の文章を読み、①から⑤の()にあてはまる言葉を記述しなさい。
高齢者の認知機能、とりわけ認知症のスクリーニングに用いられる簡便な認知機能検査
としておもに((1)) と((2)) がある。((1)) は、年齢、時の見当識、場所の見
当識、復唱、計算、数の逆唱、再生、呼称、想起の課題からなり、国内で広く使われている。
(②)は、もとは精神疾患をもつ患者のなかから認知機能に問題をもつ患者を検出する
ことを目的としていたが、認知機能の検査として広く用いられるようになった。検査は見当
識(時、場所)、記銘、注意と計算、再生、呼称、復唱、理解、読字、書字、描画(図形模
写)の課題からなる。
その他、時計盤の文字と時刻を示す針を描いてもらう(③)などもよく用いられる。

(2) 心理職が関係するコンサルテーションについて、学校臨床を例に「コンサルタント」、「コンサルティ」、「クライアント」の3つの用語を全て使ってその特徴も含めて説明しなさい。(400 字以内)

なお日本人で最も多い認知症は (④) で、二番目に多い認知症は (⑤) である。

3. チーム医療における心理職の役割について、一疾患を例に挙げながら患者の家族支援の側面から、述べさない。(400 字以内)

問4 実践人間科学(心理学をコアとする人間科学)

以下の文章は、米国で企業コンサルタントとして活躍するジェンダノアさんの体験を述べたものである。この文章を読んで、設問に答えなさい。

ジェンダノアにとって忘れられない経験がある。グローバルに展開するテクノロジー企業のコンサルティングを引き受けたときのこと。その会社は何十年も業界を牽引する立場にあったのだが、近年は競争優位性を失いつつあった。新しい機敏な競合他社が市場シェアを奪いはじめていたのだ。何とか革新的なアイデアを出さなくてはならない。「これまでどおり、型どおり」から大きく舵を切る方法を見つけなければならない。

ビジネス転換の責任を全員で担うべく、経営陣はリスキーな試みに挑戦した。通常は非公開としている戦略策定のプロセスを社内に公開し、各部門の方向性や進め方について 130人の社員から意見を求め、意思決定に関与させることにしたのだ。このような試みは創業以来初めてだった。社員全員を会社の未来を決める計画に参加させるのだ。

経営陣は、社員の意見が特に重要であることをはっきりと伝えた。これからの仕事のあり方、組織としての顧客や取引先との関係、意思決定の進め方は、社員の意見で決まっていくのだ、と。

全体会議は 3 回開かれた。ジェンダノアはコンサルタントとして、チームとともに会議の進行準備をした。ところが、最終採択が行われる 3 回目の会議の 2 日前に現地に入ったところ、クライアントである担当者から、驚くべき報告を受けた。2 回目の会議後に経営陣よりもさらに上から通告があり、いくつかの重要事項について前倒しで決定するよう指示されたのだという。これは社員と約束した締め切りの反故を意味する。戦略策定の参加者から最終的な意見を聞かずに、重要な決定を下すことになる。担当者の説明によれば、噂が広がり、多くの社員が激怒していた。社員を関与させると約束したのに、裏切ったと感じたからだ。

ジェンダノアが、このときの気持ちを語っている。

「予想外の展開で、このままでは失敗すると思いました。社員の怒りも手にとるように想像できました。でもこれは知らない(not-knowing)という姿勢(1)で対峙すべき場面だと思ったんです。今こそ冷静さを失わず、既存のやり方に頼らない能力やリソースを活用しなければ。私たちはコンサルティング・チームとして、帽子からウサギを取り出さなくてはなりません。まったく新しいことを引き出す方法を探すのです。用意しておいた案は手放して、この裏切り行為と見られる事態の対処方法を考えなければなりません。しかも、信頼と約束を再構築できる方法でなくては」

そこでチームは、会議をあえて進めないという決断をした。議論を棚上げにして、社員と 経営陣の相互理解を優先したのである。社員側は、経営陣がとった行動の理由を知る。経営 陣は、社員側がそれをどう解釈したか、耳を傾ける。会議の方針が決まると創造的な発想も わいてきた。コンサルティング・チームは、会議に2脚の背の高い脚立を用意した。ひとつは経営陣用。質問に答え、事情を説明しながら、この脚立をのぼる。もうひとつは社員用。 それに対する意見を言いながら、脚立をのぼる。

いざ会議が始まると、室内には緊迫した空気がはっきりと感じられた。チームは経営陣と社員からそれぞれひとりを選び、全体の前で意見や気持ちを発表させた。経営陣が感じている危機感とプレッシャーを語り、社員が今回の出来事に対する見解を明らかにしているあいだ、室内は沈黙に包まれていた。どういう考えでそんな行動をしたのか、どんな結論を引き出したのか、どんな信念のもとで仕事をしているのか、二人は答えるたびにそれぞれ脚立を 1 段ずつのぼる。会議参加者は彼らの意見を復唱するという形で、脚立のぼりに加わった。

こんな話し合いのプロセスを進めるうちに、双方が善意と誤解のもとに動いていたことが、全員の目にはっきりと浮かび上がってきた。会議の雰囲気は歴然と変わった。損なわれた信頼が取り戻され、深まった。経営陣と社員を真っ向からぶつかり合わせたことで、むしろそこから新たな対策を立てるという方向に向かいはじめたのだ。

「私たちコンサルティング・チームが学んだのは、<u>手放すことの重要性(2)</u>でした。議題に固執せず、現状に向き合うのです。私たち自身、失敗するのではないかと不安でしたが、どうなるかわからない展開を選びました。この混乱はむしろ僥倖でした。おかげで、先が見えなくても困難に向き合う筋肉を新たにつけられたからです」ジェンダノアはこのようにふりかえっている。

出典:

スティーブン・デスーザ、ダイアナ・レナー(著)、上原裕美子(訳)『「無知」の技法 Not Knowing』 (日本実業出版社, 2015年, pp.183-186)

copyright © Steven D' Souza & Diana Renner used with permission from LID Publishing, arranged through Japan UNI agency, Inc., Tokyo.

- 1. 下線部(1)(2)は、事態に対する一つの姿勢を提示している。これはどのような姿勢であ ろうか。この文章の主旨に即して説明しなさい。(400 字以内)
- 2. この文章で、経営陣と社員側の対立は建設的な方向に変化した。その変化プロセスについて、あなたの実践経験・生活経験に即して考察しなさい。(400 字以内)

問題は回収します

2022 年度

人間科学研究科入学試験問題 (2022 年 2 月実施)

博士課程前期課程

英語

(問題用紙3枚、解答用紙2枚)

<一般入試方式>

<2 時限目 60 分>

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

次の文を読み、下の問いに答えなさい。

Although adults can beat children at most cognitive tasks, children's limitations may sometimes be their strength, according to new research published in *Psychological Science*, a journal of the Association for Psychological Science.

In two studies, researchers found that adults were very good at remembering information they were told to focus on, and ignoring the rest. In contrast, 4- to 5-year-olds tended to pay attention to all the information that was presented to them – even when they were told to focus on one particular item. That helped children to notice things that adults didn't catch because of the grownups' selective attention.

"We often think of children as deficient in many skills when compared to adults. But sometimes what seems like a deficiency can actually be an advantage," said Vladimir Sloutsky, co-author of the study and professor of psychology at The Ohio State University.

"That's what we found in our study. Children are extremely curious and they tend to explore everything, which means their attention is spread out, even when they're asked to focus. That can sometimes be helpful."

The results have important implications for understanding how education environments affect children's learning, he said. Sloutsky conducted the research with Daniel Plebanek, a graduate student in psychology at Ohio State.

The first study 10 involved 35 adults and 34 children who were 4 to 5 years old. The

participants were shown a computer screen with two shapes, with one shape overlaying the other. One of the shapes was red, the other green. The participants were told to pay attention to a shape of a particular color (say, the red shape). The shapes then disappeared briefly, and another screen with shapes appeared. The participants had to report whether the shapes in the new screen were the same as in the previous screen.

In some cases, the shapes were exactly the same. In other cases, the target shape (the one participants were told to pay attention to) was different. But there were also instances where the non-target shape changed, even though it was not the one participants were told to notice. Adults performed slightly better than children at noticing when the target shape changed, noticing it 94 percent of the time compared to 86 percent of the time for children.

"But the children were much better than adults at noticing when the non-target shape changed," Sloutsky said. Children noticed that change 77 percent of the time, compared to 63 percent of the time for adults.

"What we found is that children were paying attention to the shapes that they weren't required to," he said. "Adults, on the other hand, tended to focus only on what they were told was

needed."

A second experiment involved the same participants. In this case, participants were shown

drawings of artificial creatures with several different features. They might have an "X" on their body, or an "O"; they might have a lightning bolt on the end of their tail or a fluffy ball. Participants were asked to find one feature, such as the "X" on the body among the "Os." They weren't told anything about the other features. Thus, their attention was attracted to "X" and "O", but not to the other features. Both children and adults found the "X" well, with adults being somewhat more accurate than children.

But when those features appeared on creatures in later screens, there was a big difference in what participants remembered. For features they were asked to attend to (i.e., "X" and "O"), adults and children were identical in remembering these features. But children were substantially more accurate than adults (72 percent versus 59 percent) at remembering features that they were not asked to attend to, such as the creatures' tails.

"The point is that children don't focus their attention as well as adults, even if you ask them to," Sloutsky said. "They end up noticing and remembering more."

Sloutsky said that adults would do well at noticing and remembering the ignored information in the studies, if they were told to pay attention to everything. But their ability to focus attention has a cost – they miss what they are not focused on.

The ability of adults to focus their attention – and children's tendency to distribute their attention more widely – both have positives and negatives.

"The ability to focus attention is what allows adults to sit in two-hour meetings and maintain long conversations, while ignoring distractions," Sloutsky said. "But young children's use of distributed attention allows them to learn more in new and unfamiliar settings by taking in a lot of information."

The fact that children don't always do as well at focusing attention also shows the importance of designing the right learning environment in classrooms, Sloutsky said.

"Children can't handle a lot of distractions. They are always taking in information, even if it is not what you're trying to teach them. We need to make sure that we are aware of that and design our classrooms, textbooks and educational materials to help students succeed.

"Perhaps a boring classroom or a simple black and white worksheet means less distraction and more successful learning," Sloutsky added.

Republished with permission of Association for Psychological Science, from Association for psychological science (APS), 2017; permission conveyed through Copyright Clearance Center, Inc. https://www.psychologicalscience.org/news/releases/children-pay-attention-to-information-adults-miss.html

問 1. 下線部① "The first study" として書かれている研究の概要(研究目的、実験手法、 結果、考察等)を要約しなさい。(350 字以内)

問 2. 下線部② "A second experiment" として書かれている研究の概要(研究目的、実験手法、結果、考察等)を要約しなさい。(350 字以内)

問3. 本文中の研究の成果に基づく子供の学習環境への提言についても簡単にまとめなさい。(150字以内)

2022 年度

人間科学研究科入学試験問題 (2022 年 2 月実施)

博士課程前期課程

小論文

(問題用紙1枚、解答用紙2枚)

<社会人·APU 入試方式>

<2 時限目 60 分>

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番号	氏 名

以下の文章を読んで、問に答えなさい。

もう一度現在の日本に目を向けてみましょう。明治でも現代でも女性の地位が男性に比べて低いことにかわりはありません。とはいえ、現代において、女性が差別、抑圧される形には、明治時代とは違った形のものもありそうです。

例えば「専業主婦」のことを考えてみましょう。専業主婦も女性の働き方の一つです。育児、食事の準備、掃除といった仕事を、夫や子どものために、賃金を受け取ることもなくおこないます。一方その反面、夫は、家族全員が生活できるだけの給料を稼いでくることを期待されます。

「女性はみな結婚し、専業主婦になるべき」という考え方は、女性が、男性と同様に企業や官庁などで働くことを妨害するものです。そのような考え方は、女性の自由な選択を否定するわけですから、たしかに女性を差別するものです。一方で、「家」のために、男性家長のもと、必死でカネを稼ぐために農作業や副業をしなければならない農家の妻や娘からみれば、そうした肉体的な重労働から解放された専業主婦は、「よりマシ」な働き方にみえるかもしれません。

さらに、現代では、一人暮らしの女性、母子家庭の母親が、パートなど安い賃金の非正規 雇用の仕事にしかつけず、貧困におちいるケースが多いことも問題視されています。これも、 女性が正規職につきにくいという女性差別が原因にあるわけですが、こうした女性が「専業 主婦願望」をもつこともあるでしょう。

もちろん、明治と同様、「家のため」に女性が抑圧される形の差別も依然として現代日本にはあります。このように、現代社会にはさまざまな形の女性への差別、抑圧があるわけですが、女性が弱い地位にあるかぎり、社会全体が無理をしようとすると、女性にしわ寄せがいくという構造はかわりありません。

松沢 裕作『生きづらい明治社会――不安と競争の時代』(岩波書店, 2018年, p.119-120)

問 ここで提示されている問題の所在と解決策について、「生まれの偶発性」「家制度」「自由」 というキーワードを必ず用いて論じなさい。キーワードを用いた箇所にアンダーライン を引くこと。(1200 字以内)

2022 年度

人間科学研究科入学試験問題 (2022 年 2 月実施)

博士課程前期課程

小論文

(問題用紙1枚、解答用紙1枚)

<外国人留学生入試方式>

<2 時限目 60 分>

※ 解答用紙すべてに受験番号と氏名を記入しなさい。

受 験 番 号	氏 名

以下の文章を読んで、問に答えなさい。

もう一度現在の日本に目を向けてみましょう。明治でも現代でも女性の地位が男性に比べて低いことにかわりはありません。とはいえ、現代において、女性が差別、抑圧される形には、明治時代とは違った形のものもありそうです。

例えば「専業主婦」のことを考えてみましょう。専業主婦も女性の働き方の一つです。育 児、食事の準備、掃除といった仕事を、夫や子どものために、賃金を受け取ることもなくお こないます。一方その反面、夫は、家族全員が生活できるだけの給料を稼いでくることを期 待されます。

「女性はみな結婚し、専業主婦になるべき」という考え方は、女性が、男性と同様に企業や官庁などで働くことを妨害するものです。そのような考え方は、女性の自由な選択を否定するわけですから、たしかに女性を差別するものです。一方で、「家」のために、男性家長のもと、必死でカネを稼ぐために農作業や副業をしなければならない農家の妻や娘からみれば、そうした肉体的な重労働から解放された専業主婦は、「よりマシ」な働き方にみえるかもしれません。

さらに、現代では、一人暮らしの女性、母子家庭の母親が、パートなど安い賃金の非正規 雇用の仕事にしかつけず、貧困におちいるケースが多いことも問題視されています。これも、 女性が正規職につきにくいという女性差別が原因にあるわけですが、こうした女性が「専業 主婦願望」をもつこともあるでしょう。

もちろん、明治と同様、「家のため」に女性が抑圧される形の差別も依然として現代日本 にはあります。このように、現代社会にはさまざまな形の女性への差別、抑圧があるわけで すが、女性が弱い地位にあるかぎり、社会全体が無理をしようとすると、女性にしわ寄せが いくという構造はかわりありません。

松沢 裕作『生きづらい明治社会——不安と競争の時代』(岩波書店, 2018年, p.119-120)

問 「女性はみな結婚し、専業主婦になるべき」という考えについて、あなたの考えを書き なさい。(800 字以内)